【プレゼンテーション資料】

2017年度連結業績および
ソニー生命の2018年3月末MCEV【速報】

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
2018年5月14日

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

目次

- 2017年度 連結業績 P.3
- 2018年度 連結業績予想 P.29
- 2018年度 配当予想 P.31
- ソニー生命の2018年3月末MCEV【速報】 およびESR P.33
- 参考情報 P.36

免責事項：

このプレゼンテーション資料に記載されている、ソニーフィナンシャルグループの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しや試算です。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「想定」、「予測」、「予想」、「目的」、「意図」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーフィナンシャルグループの経営者の仮定、決定ならびに判断に基づいています。実際の業績は、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、ソニーフィナンシャルグループが将来の見通しや試算を見直して改訂するとは限りません。ソニーフィナンシャルグループはそのような義務を負いません。また、このプレゼンテーション資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。

※本資料掲載情報は、特に記載のない限り、数値は表示単位未満は切捨て、比率や増減率は四捨五入で表示。
　また、増減率が1,000%を超える場合や比較対象の一方もしくは両方がマイナスの場合は「－」表示。
※「ライフプランナー」はソニー生命の登録商標。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

2017年度 連結業績

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

エグゼクティブ・サマリー

Sony Financial Holdings

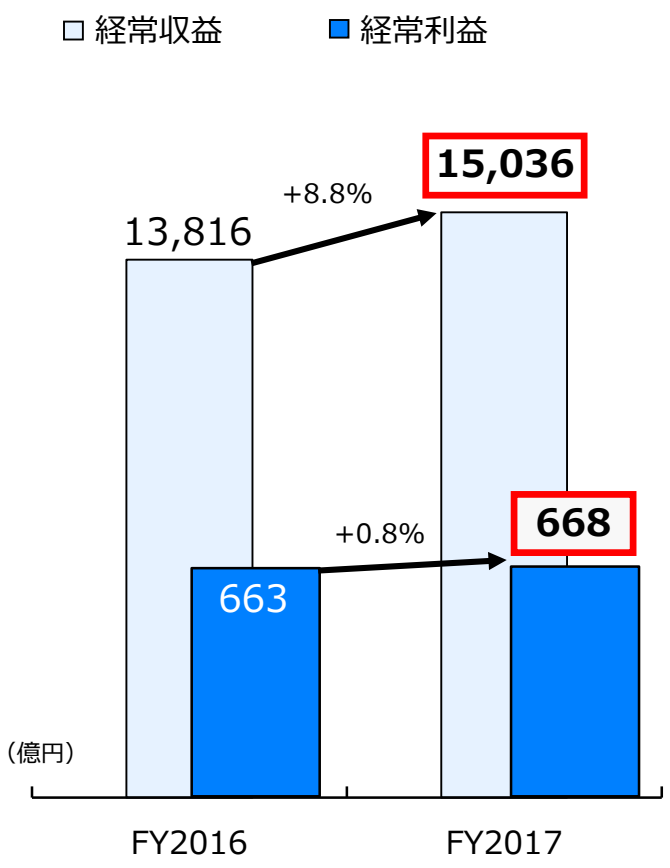
2017年度 実績	◆ 3事業ともに業容を着実に拡大。 グループ連結では、経常収益は増加、経常利益は横ばい。 ◆ ソニー生命では、米ドル建保険の販売好調などにより保険料等収入は昨年度に比べ大きく増加した。 着実な新契約獲得により、新契約価値も堅調に増加。
2018年度 予想	◆ 引き続き3事業ともに業容拡大を見込んでおり、持続的な成長基調を維持していく。グループ連結では増収増益の見通し。 ◆ ソニー生命においては、保有契約高の堅調な伸びによる保険料等収入の増加を見込み、増収増益を予想。 新契約獲得により、MCEVも増加を見込む。
株主還元	◆ 中期配当方針に従い、事業環境や業容成長および経済価値ベースの利益の伸展などを勘案した結果、2018年度の配当予想は、2017年度から2.5円増配し、1株当たり62.5円とする。今後も安定的な増配をめざす。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

連結業績ハイライト　①

Sony Financial Holdings

<グループ連結>



(億円)		FY2016	**FY2017**	前年度比	
生命保険事業	**経常収益**	12,439	**13,512**	+1,072	+8.6%
	経常利益	568	**541**	△26	△4.7%
損害保険事業	**経常収益**	1,023	**1,100**	+77	+7.6%
	経常利益	50	**65**	+15	+31.5%
銀行事業	**経常収益**	385	**399**	+14	+3.7%
	経常利益	50	**71**	+20	+41.4%
その他 *	**経常収益**	△31	**23**	+54	–
	経常利益	△5	**△10**	△4	–
グループ連結	**経常収益**	13,816	**15,036**	+1,219	+8.8%
	経常利益	663	**668**	+5	+0.8%
	親会社株主に帰属する当期純利益	416	**518**	+102	+24.7%

＊ 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）及び介護事業にかかる損益と内部取引調整。
FY17.2Qよりプラウドライフ（株）を含む。

（注）包括利益： FY2016 ・・・ 214億円、 FY2017・・・522億円

(億円)		17.3末	**18.3末**	前年度末比	
グループ連結	**純資産**	6,011	**6,254**	+242	+4.0%
	総資産	114,718	**124,014**	+9,296	+8.1%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

連結業績ハイライト　②

＜前年度比分析＞

- 生命保険事業：経常収益は、保有契約高の堅調な推移を受けた保険料等収入の増加により、前年度に比べ増収。
  経常利益は、標準利率改定による新契約獲得にともなう責任準備金繰入額の増加および一般勘定における有価証券売却益の減少により、前年度に比べ減益。なお、変額保険の市場変動にともなう損益*が、前年度に比べ改善し、上記減益要因の影響を一部相殺。

  ＊変額保険の市場変動にともなう最低保証に係る責任準備金の変動額およびデリバティブ取引のヘッジ損益の合計金額

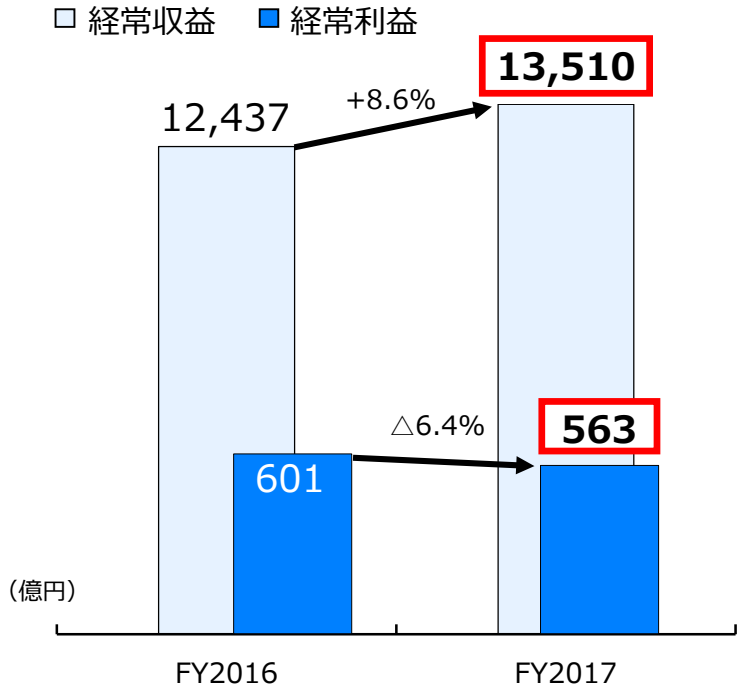
- 損害保険事業：経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、前年度に比べ増収。
  経常利益は、自動車保険の事故率の低下などにともなう損害率の低下により、前年度に比べ増益。

- 銀行事業：経常収益は、住宅ローン残高の積み上がりにともなう貸出金利息の増加や、有価証券利息の増加により、前年度に比べ増収。経常利益は、カードローンに係る広告宣伝費を中心に営業経費が減少したことなどにより、前年度に比べ増益。

- 連結業績：経常収益は、生命保険事業、損害保険事業および銀行事業のすべての事業において増加した結果、1兆5,036億円（前年度比8.8%増）。経常利益は、生命保険事業において減少、損害保険事業および銀行事業において増加した結果、668億円（同0.8%増）。親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益として生命保険事業において投資用不動産の売却にともなう固定資産等処分益132億円を計上した影響もあり、518億円（同24.7%増）。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命　業績ハイライト （単体）



◆ 前年度比　増収減益。
◆ 保険料等収入は、保有契約高の堅調な推移により、増加。
◆ 資産運用収益は、為替差益が減少し為替差損に転じたことにより、減少。
◆ 経常利益は、標準利率改定による新契約獲得にともなう責任準備金繰入額の増加および一般勘定における有価証券売却益の減少により、前年度に比べ減益。
なお、変額保険の市場変動にともなう損益*が、前年度に比べ改善し、上記減益要因の影響を一部相殺。

＊ 変額保険の市場変動にともなう最低保証に係る責任準備金の変動額およびデリバティブ取引のヘッジ損益の合計金額

(億円)	FY2016	**FY2017**	前年度比	
経常収益	12,437	**13,510**	+1,073	+8.6%
保険料等収入	9,567	**10,592**	+1,025	+10.7%
資産運用収益	2,453	**2,432**	△20	△0.8%
うち利息及び配当金等収入	1,482	**1,577**	+94	+6.4%
うち有価証券売却益	13	**0**	△13	△100.0%
うち為替差益	146	**－**	△146	△100.0%
うち特別勘定資産運用益	764	**809**	+45	+5.9%
経常費用	11,835	**12,947**	+1,111	+9.4%
保険金等支払金	3,724	**4,365**	+641	+17.2%
責任準備金等繰入額	5,967	**6,383**	+416	+7.0%
資産運用費用	361	**331**	△30	△8.5%
うち金融派生商品費用	300	**114**	△186	△62.1%
うち為替差損	－	**152**	+152	－
事業費	1,370	**1,399**	+28	+2.1%
経常利益	601	**563**	△38	△6.4%
固定資産等処分益	－	**132**	+132	－
当期純利益	351	**451**	+99	+28.3%

(億円)	17.3末	**18.3末**	前年度末比	
有価証券残高	80,931	**87,659**	+6,727	+8.3%
責任準備金残高	79,299	**85,660**	+6,361	+8.0%
純資産	4,735	**4,927**	+191	+4.1%
その他有価証券評価差額金	1,277	**1,249**	△28	△2.2%
総資産	88,736	**95,676**	+6,940	+7.8%
特別勘定資産	9,896	**11,288**	+1,392	+14.1%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命　主要業績指標 （単体）

（億円）	FY2016	**FY2017**	増減率
新契約高	49,575	**52,879**	+6.7%
解約・失効高	18,393	**22,508**	+22.4%
解約・失効率	4.27%	**4.97%**	+0.70pt
保有契約高	453,341	**472,534**	+4.2%
新契約年換算保険料	781	**730**	△6.5%
うち第三分野	157	**129**	△17.4%
保有契約年換算保険料	8,208	**8,488**	+3.4%
うち第三分野	1,874	**1,918**	+2.4%

（注）新契約高、解約・失効高、解約・失効率、保有契約高、新契約年換算保険料、保有契約年換算保険料は、個人保険と個人年金保険の合計。 解約･失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

＜主な増減要因＞

◆ 家族収入保険、米ドル建保険の販売が好調であったことにより、増加。

◆米ドル建保険、変額保険、個人年金保険の販売が好調であったものの、定期保険、生前給付保険などの販売減少により、減少。

（億円）	FY2016	**FY2017**	増減率
資産運用損益（一般勘定）	1,327	**1,292**	△2.6%
基礎利益	838	**813**	△2.9%
順ざや額	154	**177**	+14.9%

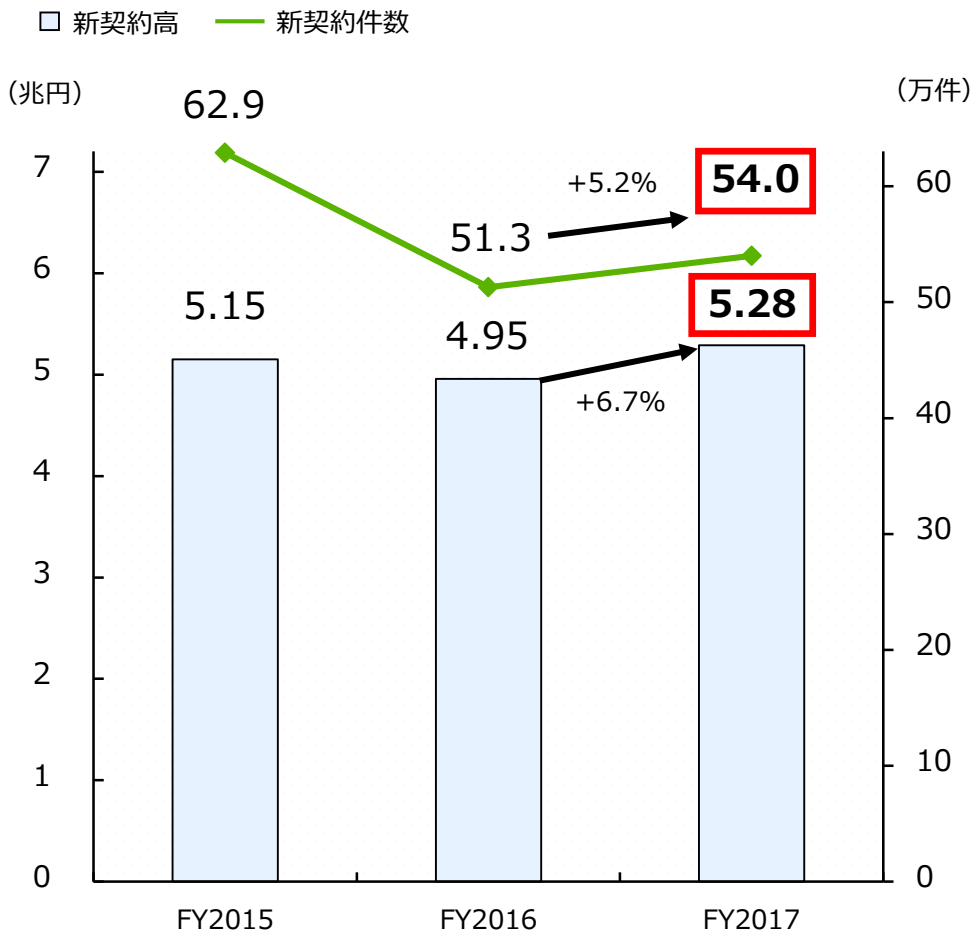
◆保有契約の積上げや順ざや額の増加があったものの、標準利率改定による新契約獲得にともなう責任準備金繰入額の増加により、減少。

	17.3末	**18.3末**	前年度末比
単体 ソルベンシー・マージン比率	2,568.8%	**2,624.3%**	+55.5pt

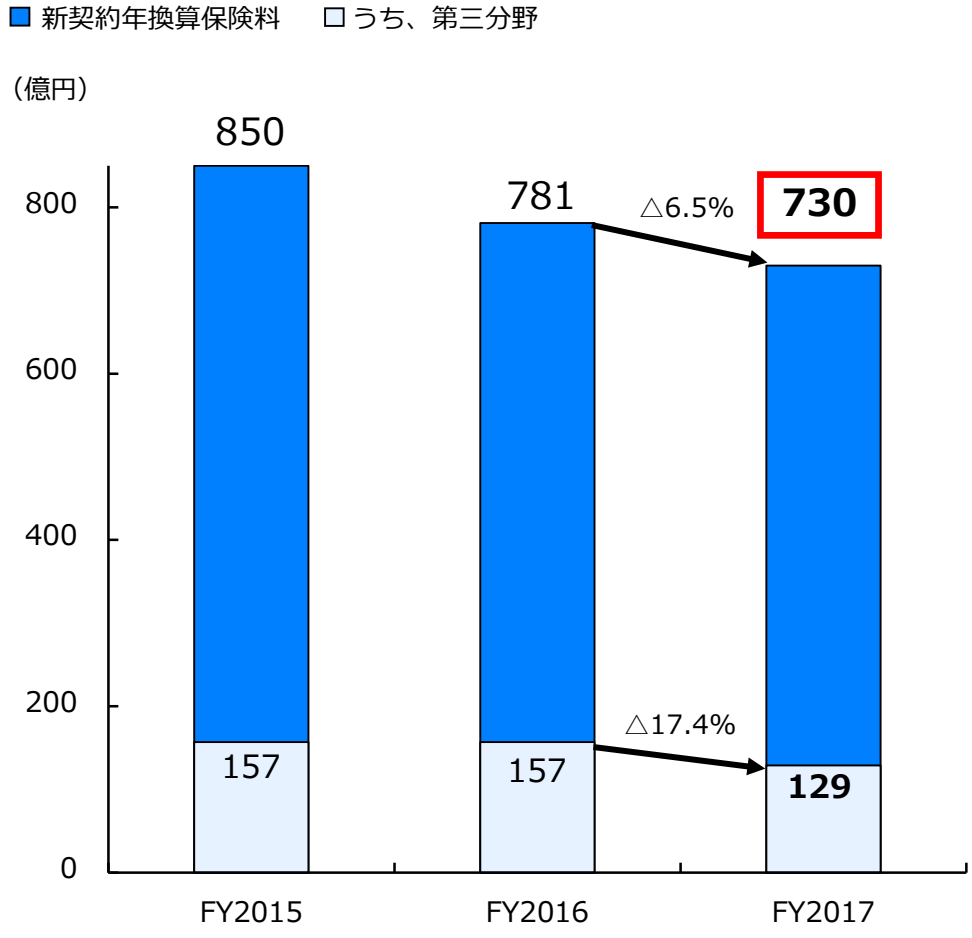
Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ①

新契約高・件数 （個人保険＋個人年金保険）



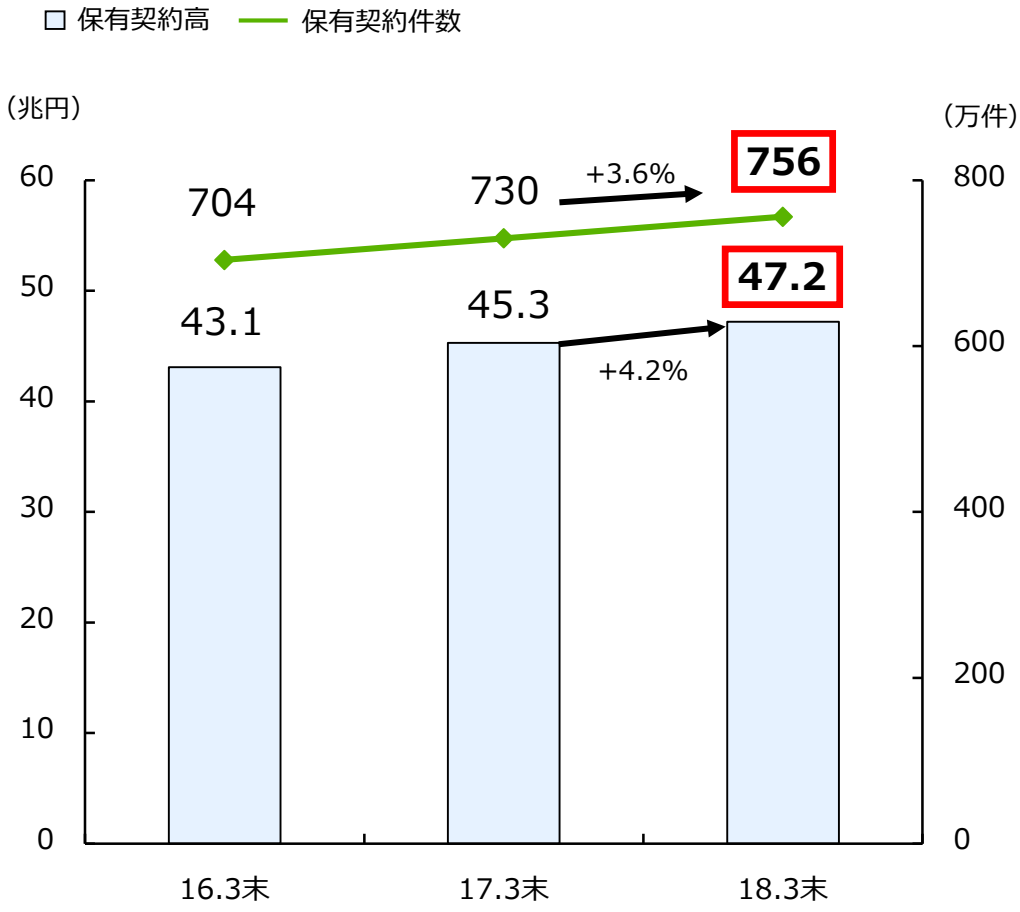
新契約年換算保険料 （個人保険＋個人年金保険）



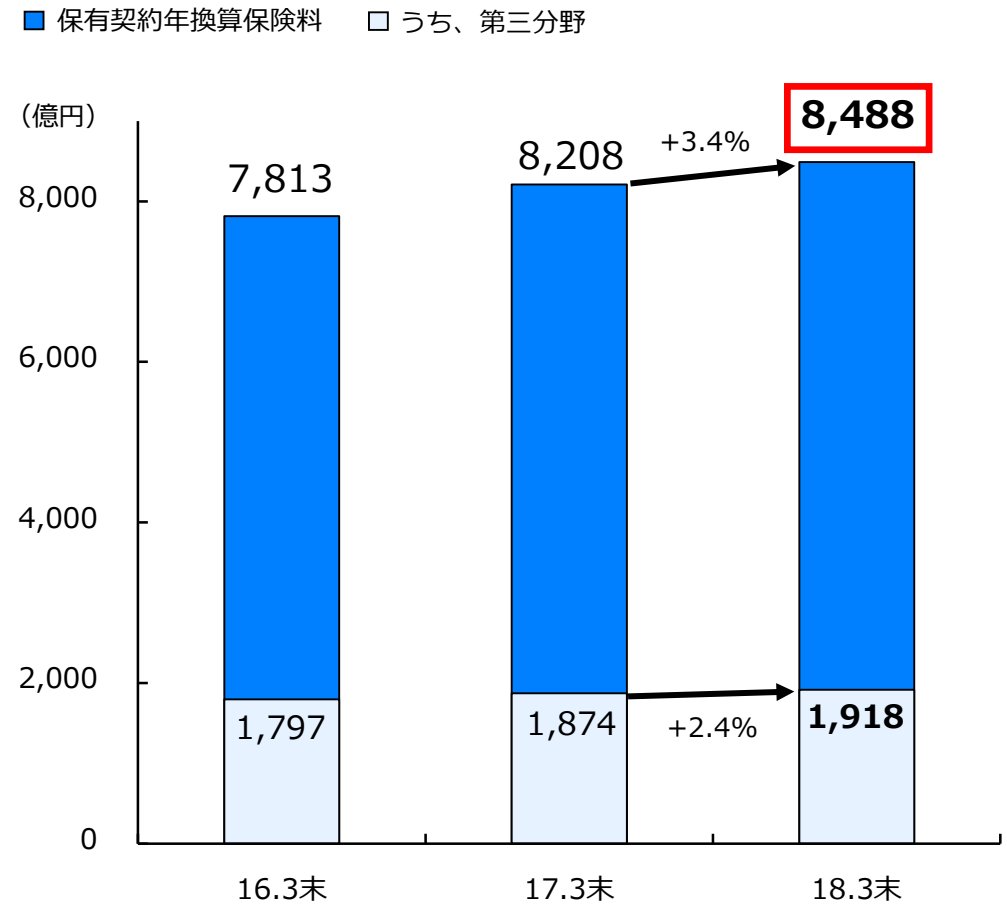
Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ②

保有契約高・件数 （個人保険＋個人年金保険）



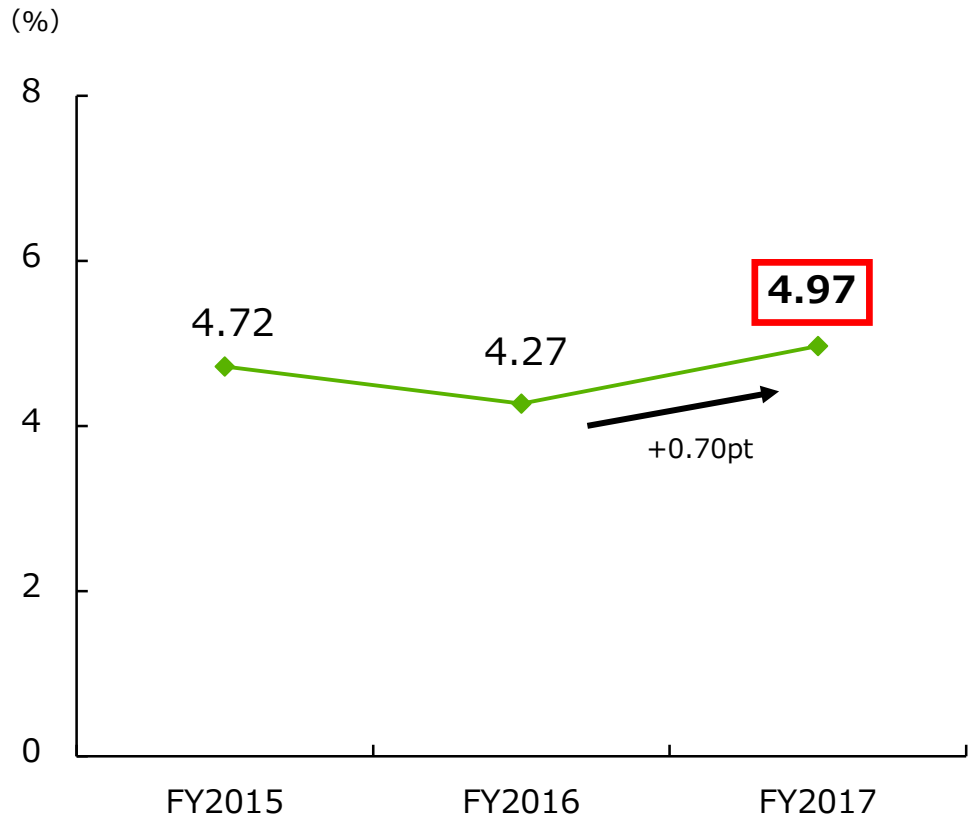
保有契約年換算保険料（個人保険＋個人年金保険）



Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ③

解約・失効率＊ （個人保険+個人年金保険）

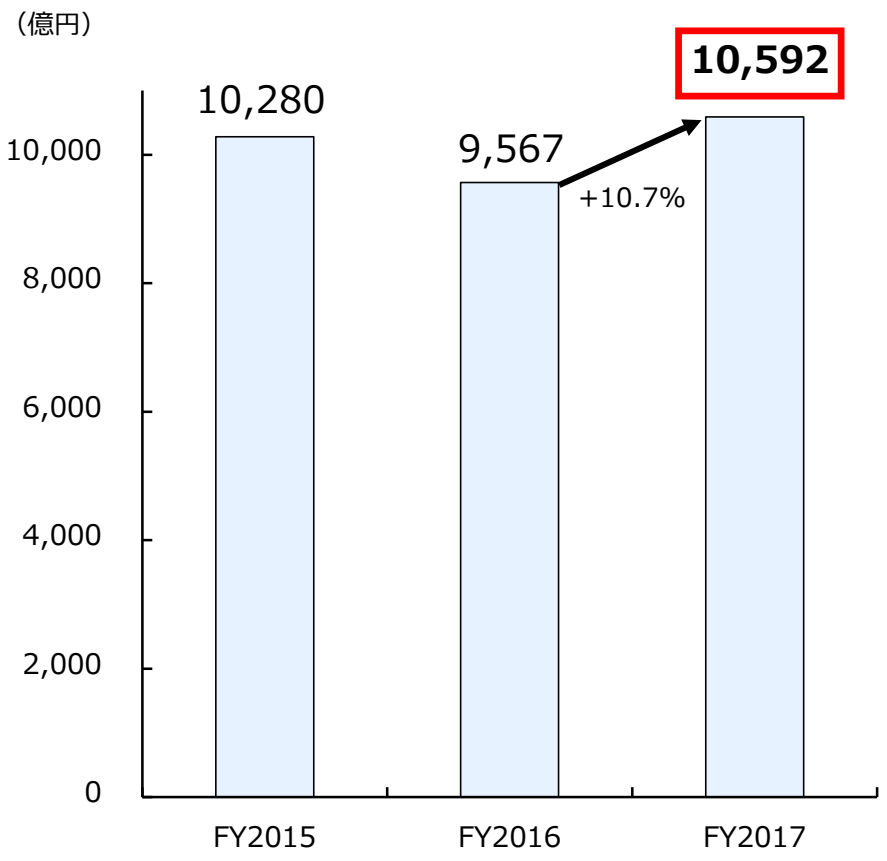


＊ 解約･失効率は、契約高の減額または増額および復活を含めない解約・失効高を年度始の保有契約高で除した率。

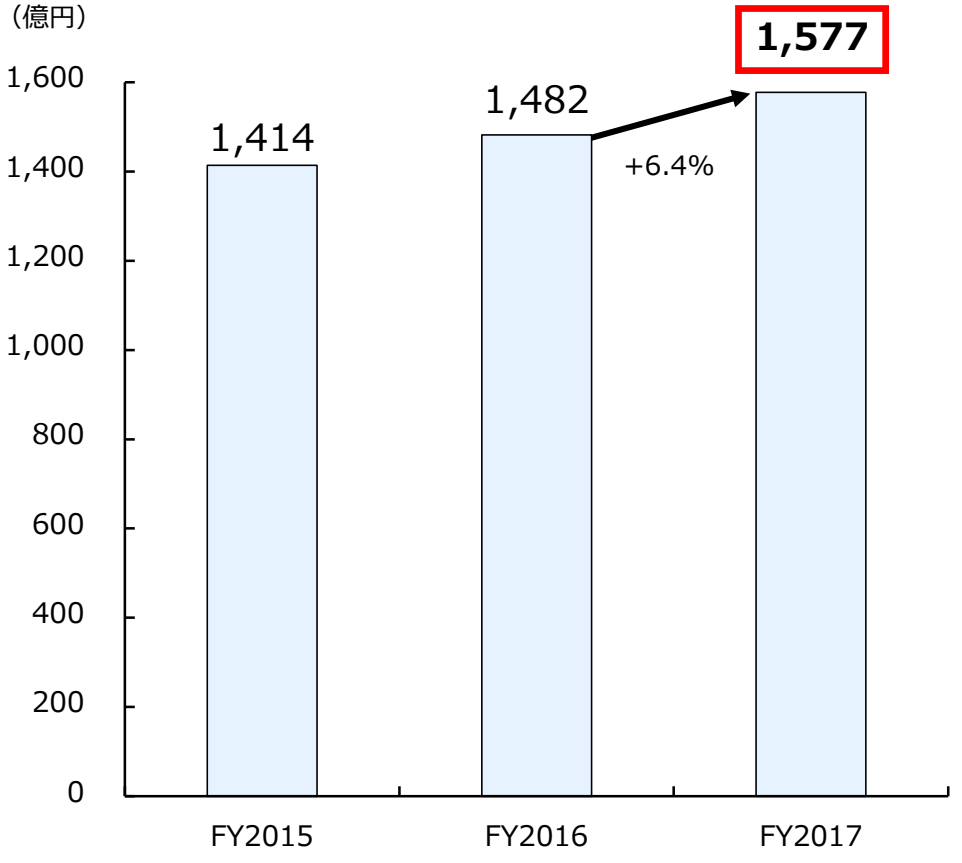
Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ④

保険料等収入



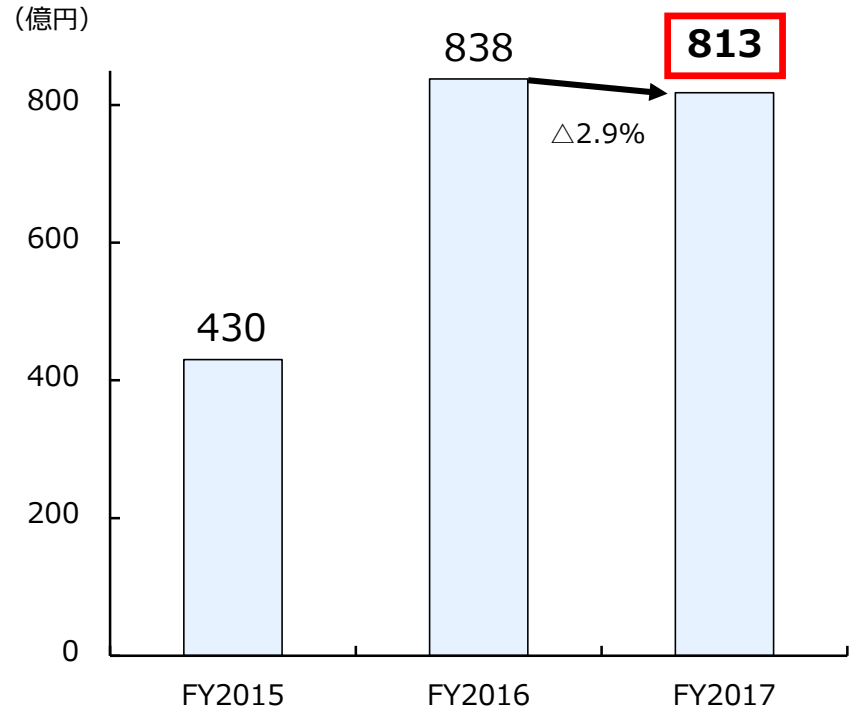
利息及び配当金等収入



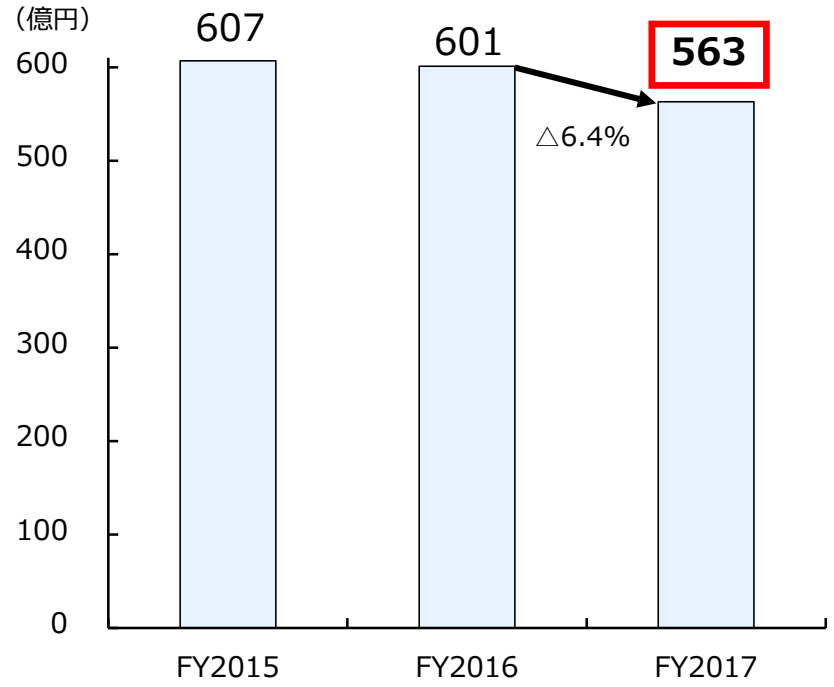
Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ⑤

基礎利益



経常利益



（ご参考）基礎利益へのインパクト

(億円)	FY2015	FY2016	**FY2017**
順ざや額	153	154	**177**
変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額 (△) (注)	△347	△78	**△187**
その他	625	762	**824**

（ご参考）基礎利益からの主な差異

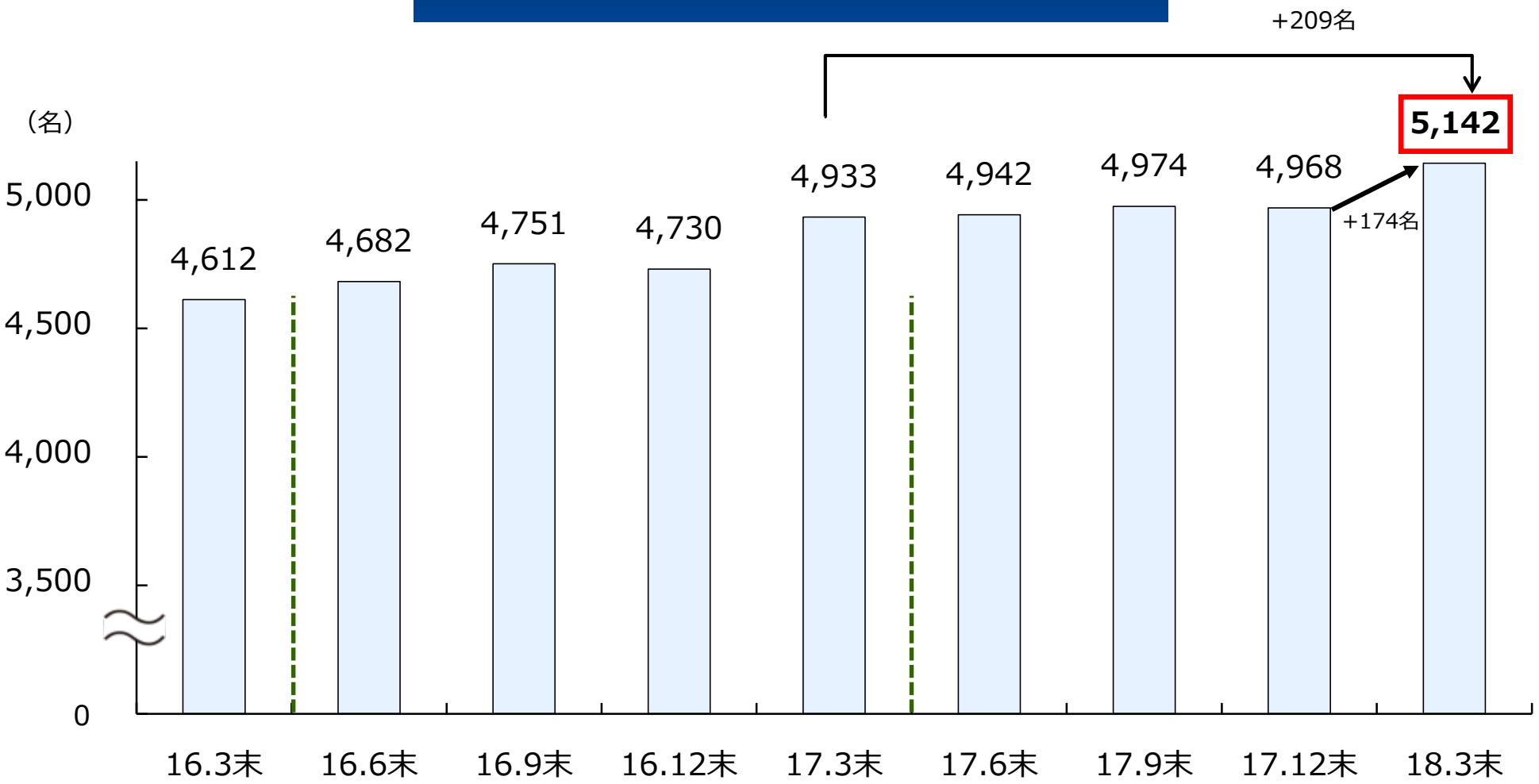
(億円)	FY2015	FY2016	**FY2017**
キャピタル損益(ヘッジ損益除く) (注)	204	△4	**△90**
変額保険に係るヘッジ損益	39	△156	**△84**
危険準備金繰入額(△) (注)	△64	△72	**△74**

（注）変額保険の最低保証に係る責任準備金繰入額、危険準備金繰入額のマイナスは繰入額。キャピタル損益は、変額保険に係るヘッジ損益を除く。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ⑥

ライフプランナー在籍数



Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ⑦

一般勘定資産の内訳

（億円）	17.3末		**18.3末**	
	金額	割合	**金額**	**割合**
公社債	68,287	86.6%	**72,811**	**86.3%**
株式	376	0.5%	**384**	**0.5%**
外国公社債	2,743	3.5%	**3,665**	**4.3%**
外国株式等	315	0.4%	**303**	**0.4%**
金銭の信託	2,738	3.5%	**2,705**	**3.2%**
約款貸付	1,803	2.3%	**1,894**	**2.2%**
不動産(注)	1,175	1.5%	**923**	**1.1%**
現預金・コールローン	408	0.5%	**408**	**0.5%**
その他	991	1.3%	**1,291**	**1.5%**
合計	78,840	100.0%	**84,388**	**100.0%**

（注）「不動産」については、土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上。

＜資産運用状況＞

金利リスクの低減を目的として、保険契約の持つ長期の負債特性に合わせて超長期債の購入を継続

〔債券のDuration〕

2016. 3末　21.8 年
2017. 3末　21.3 年
2018. 3末　21.4 年

- **「金銭の信託」は主に公社債を中心に運用**
- **一般勘定資産における公社債（金銭の信託で運用されているものを含む）の実質的な構成比**

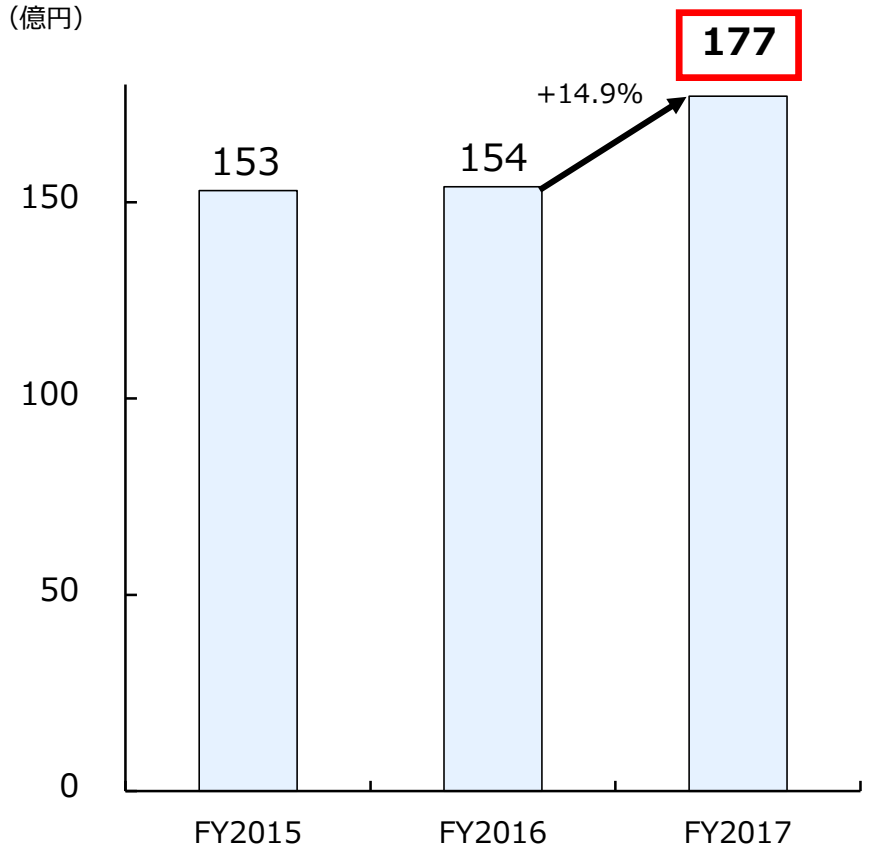
2018.3末・・・89.5%
（2017.3末・・・ 90.1%）

※不動産残高の減少はFY17.3Qに売却を行ったことによる。

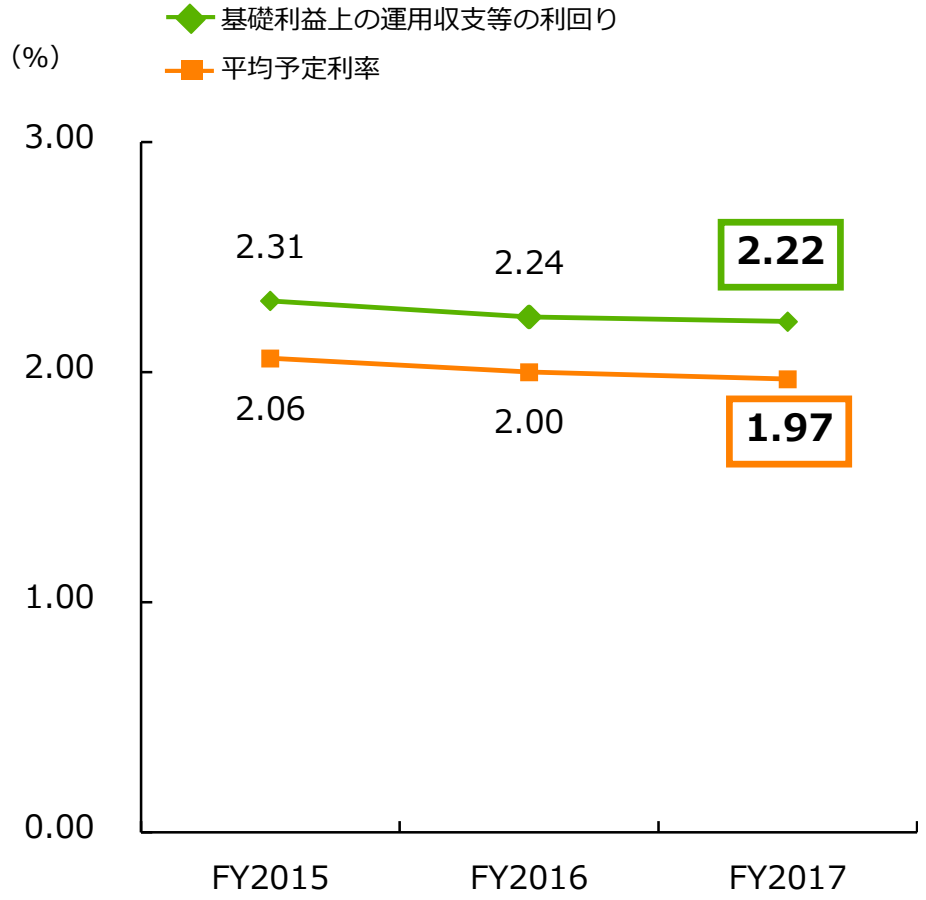
Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の業績 （単体） ⑧

順ざや額



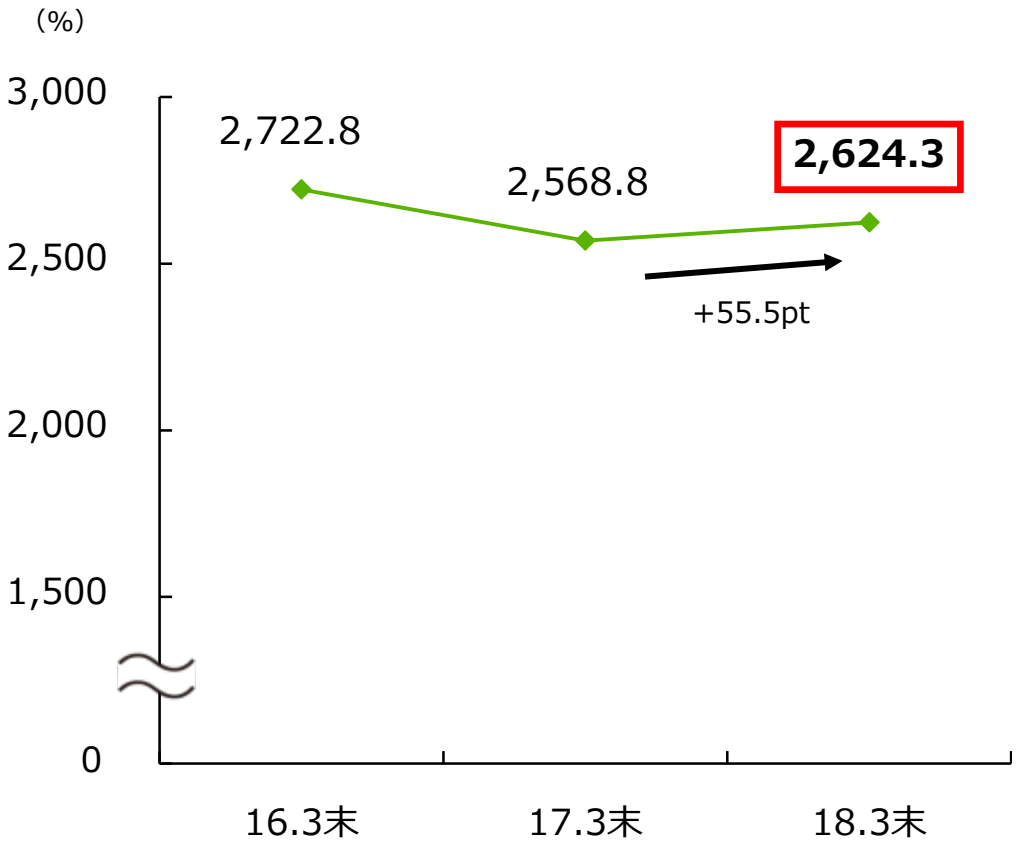
平均予定利率に対する基礎利益上の運用収支等の利回り



Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

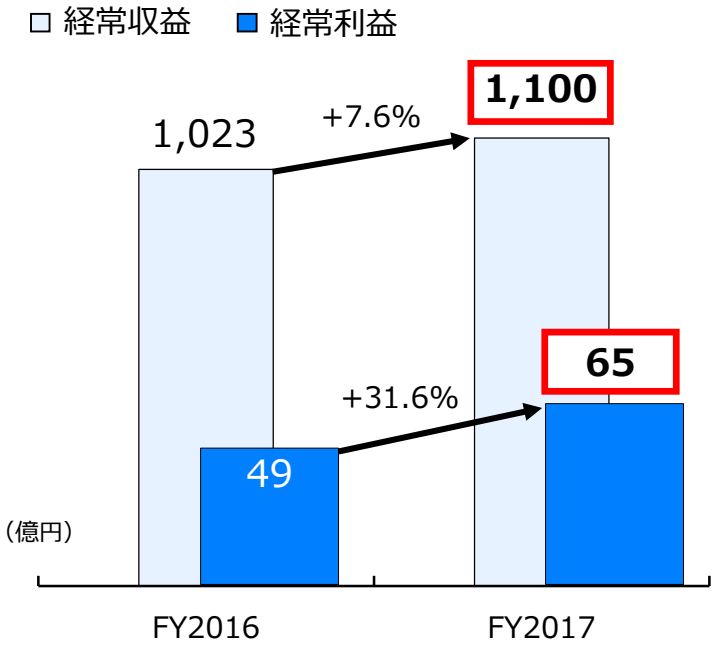
ソニー生命の業績 （単体） ⑨

単体ソルベンシー・マージン比率



Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー損保　業績ハイライト



(億円)	FY2016	FY2017	前年度比	
経常収益	1,023	**1,100**	+77	+7.6%
保険引受収益	1,003	**1,083**	+79	+8.0%
資産運用収益	19	**17**	△2	△11.5%
経常費用	973	**1,035**	+61	+6.4%
保険引受費用	705	**744**	+38	+5.5%
営業費及び一般管理費	267	**290**	+23	+8.7%
経常利益	49	**65**	+15	+31.6%
当期純利益	35	**48**	+13	+37.2%

- ◆ 前年度比 、増収増益。
- ◆ 経常収益は、主力の自動車保険で正味収入保険料が増加したことにより、増収。
- ◆ 経常利益は、自動車保険の事故率の低下などにともなう損害率の低下により、増益。

(億円)	17.3末	18.3末	前年度末比	
責任準備金残高	1,061	**1,170**	+109	+10.3%
純資産	294	**331**	+37	+12.9%
総資産	1,865	**2,043**	+178	+9.6%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー損保　主要業績指標

(億円)	FY2016	**FY2017**	前年度比
元受正味保険料	990	**1,070**	+8.1%
正味収入保険料	1,002	**1,082**	+8.0%
正味支払保険金	501	**524**	+4.6%
保険引受利益	30	**48**	+58.4%
正味損害率	57.5%	**55.9%**	△1.6pt
正味事業費率	28.3%	**28.5%**	+0.2pt
コンバインド・レシオ	85.8%	**84.4%**	△1.4pt

<主な増減要因>

◆ 主力の自動車保険が増加。

（注） 正味損害率 ＝ （正味支払保険金＋損害調査費）÷ 正味収入保険料
正味事業費率 ＝ 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

	FY2016	**FY2017**	前年度比
E.I 損害率	62.3%	**60.7%**	△1.6pt
E.I 損害率+正味事業費率	90.6%	**89.2%**	△1.4pt

◆ 自動車保険の事故率の低下などにより、低下。

（注） E.I.損害率 ＝ （正味支払保険金＋支払備金繰入額＋損害調査費）÷ 既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]

	17.3末	**18.3末**	前年度末比	
保有契約件数	189万件	**207万件**	+18万件	+9.7%
単体 ソルベンシー・マージン比率	730.8%	**782.1%**	+51.3pt	

（注） 保有契約件数は、自動車保険と医療保険の合算値。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー損保　種目別保険引受の状況

Sony Financial Holdings

元受正味保険料

（百万円）	FY2016	**FY2017**	増減率
火　　災	245	**206**	△15.9%
海　　上	–	**–**	–
傷　　害	8,767	**8,679**	△1.0%
自 動 車	90,001	**98,123**	+9.0%
自 賠 責	–	**–**	–
合計	99,014	**107,008**	+8.1%

正味収入保険料

（百万円）	FY2016	**FY2017**	増減率
火　　災	24	**16**	△34.4%
海　　上	△2	**0**	–
傷　　害	9,044	**8,887**	△1.7%
自 動 車	89,746	**97,880**	+9.1%
自 賠 責	1,460	**1,469**	+0.6%
合計	100,274	**108,254**	+8.0%

正味支払保険金

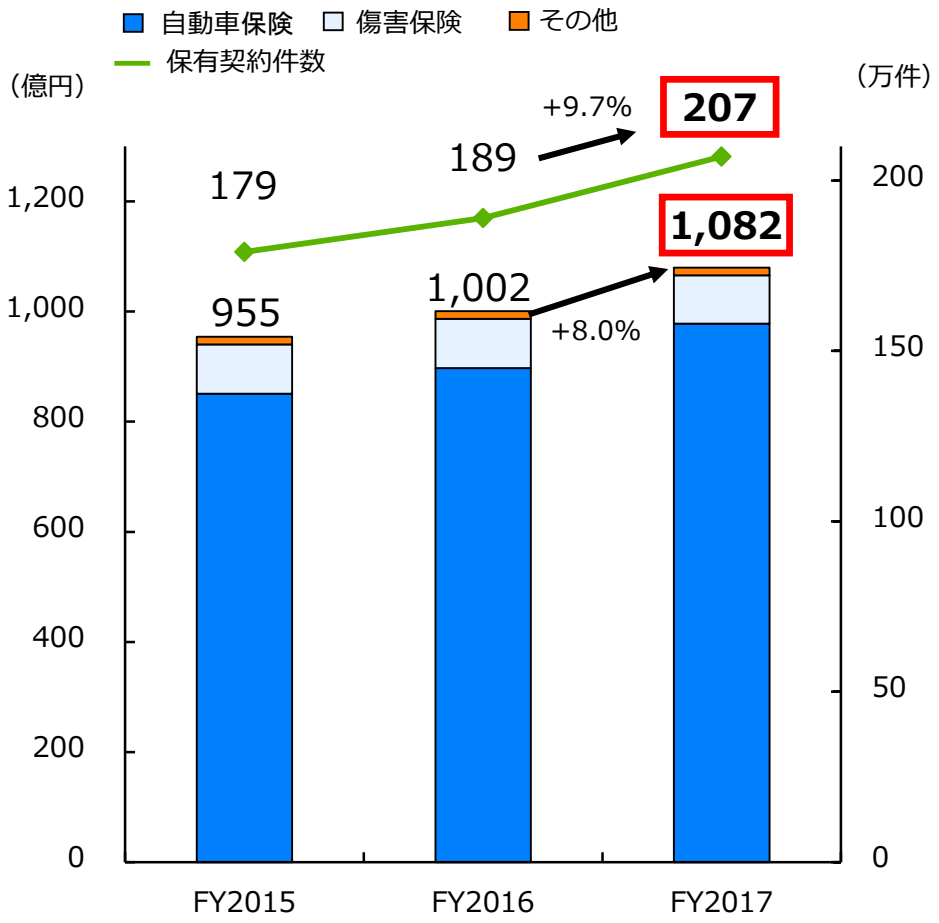
（百万円）	FY2016	**FY2017**	増減率
火　　災	6	**6**	△1.4%
海　　上	△6	**2**	–
傷　　害	2,615	**2,692**	+2.9%
自 動 車	46,263	**48,464**	+4.8%
自 賠 責	1,301	**1,316**	+1.1%
合計	50,181	**52,482**	+4.6%

（注）「傷害」には医療保険を含む。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

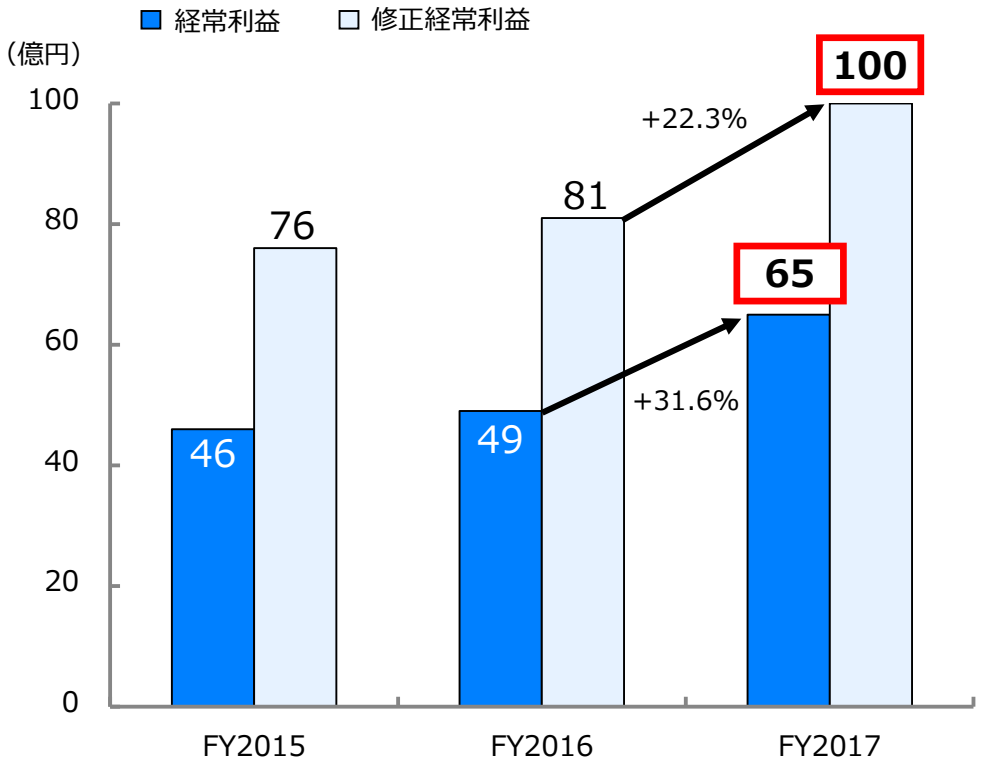
ソニー損保の業績　①

正味収入保険料と保有契約件数



（注）保有契約件数は、自動車保険と医療保険の合算値。
また、傷害保険の正味収入保険料の大部分が医療保険。

経常利益と修正経常利益



※修正経常利益 ＝ 経常利益 ＋ 異常危険準備金繰入額

（ご参考） 異常危険準備金繰入状況

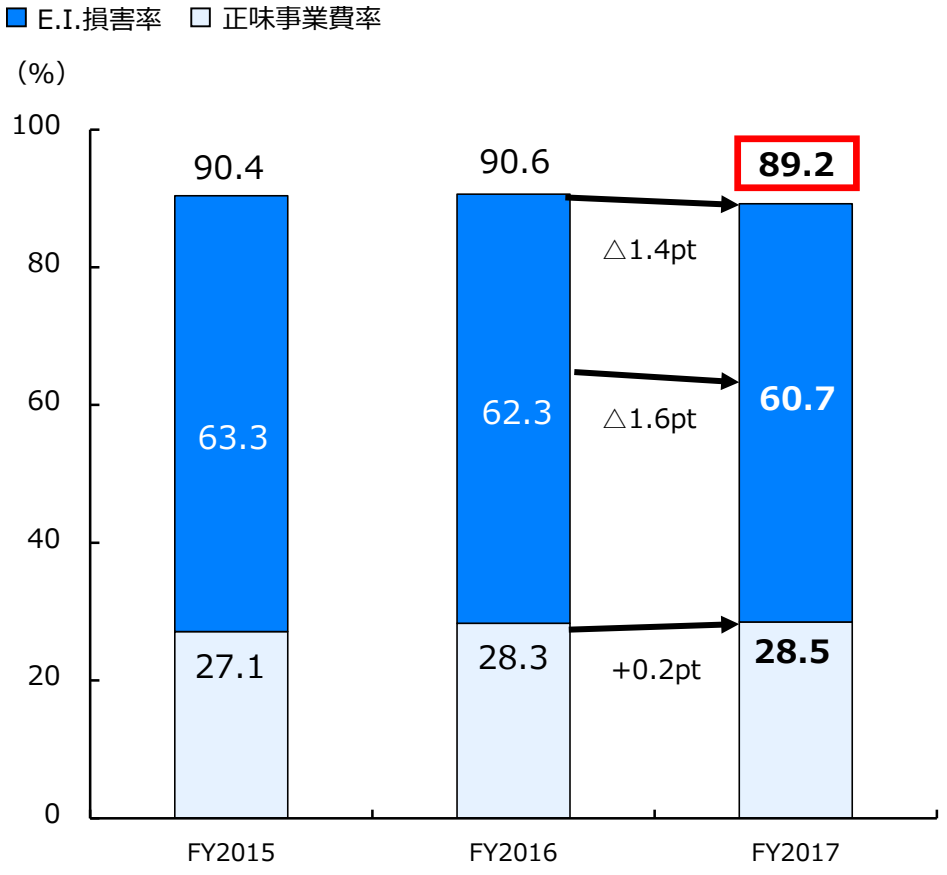
（億円）	FY2015	FY2016	**FY2017**
異常危険準備金繰入額	30	31	**34**

（注）異常危険準備金繰入額のプラスは繰入額。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

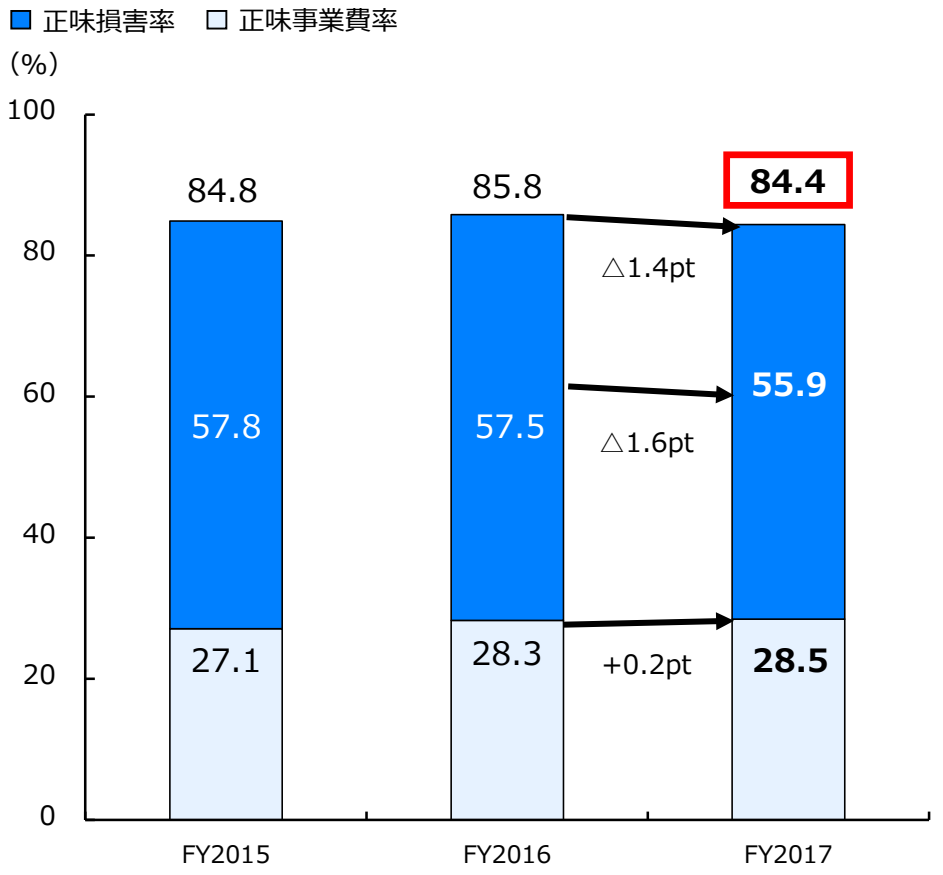
ソニー損保の業績　②

E.I.損害率 ＋ 正味事業費率



（注）E.I.損害率 ＝（正味支払保険金＋支払備金繰入額＋損害調査費）÷ 既経過保険料
[除く地震保険、自賠責保険]
正味事業費率 ＝ 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

<参考> コンバインド・レシオ（正味損害率 ＋ 正味事業費率）

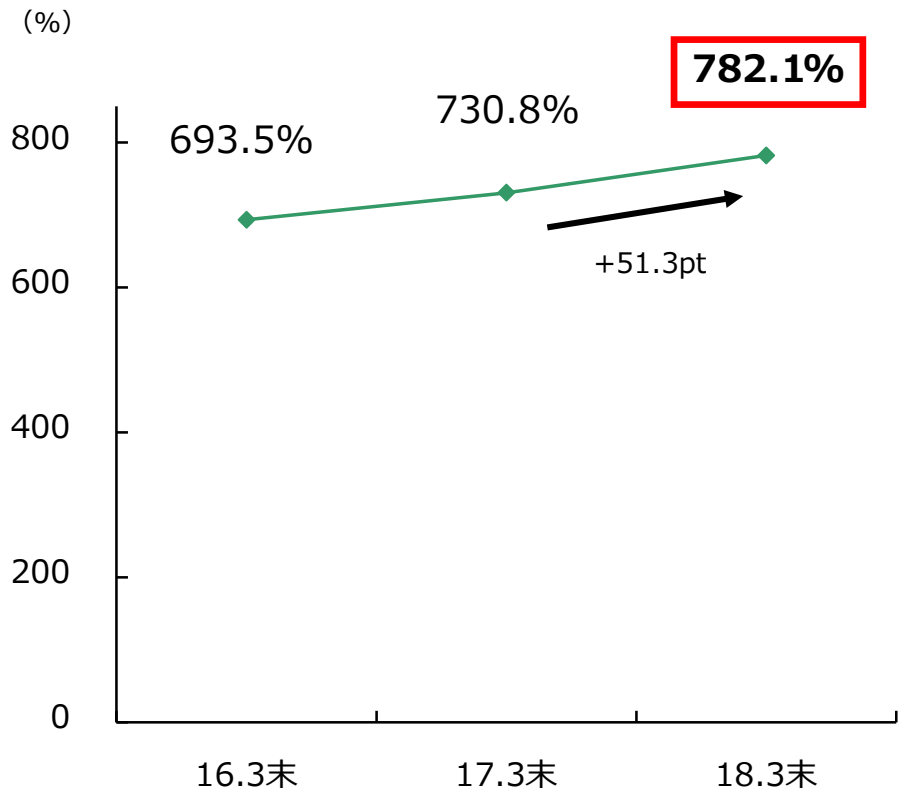


（注）正味損害率 ＝（正味支払保険金＋損害調査費）÷ 正味収入保険料
正味事業費率 ＝ 保険引受に係る事業費 ÷ 正味収入保険料

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー損保の業績　③

単体ソルベンシー・マージン比率

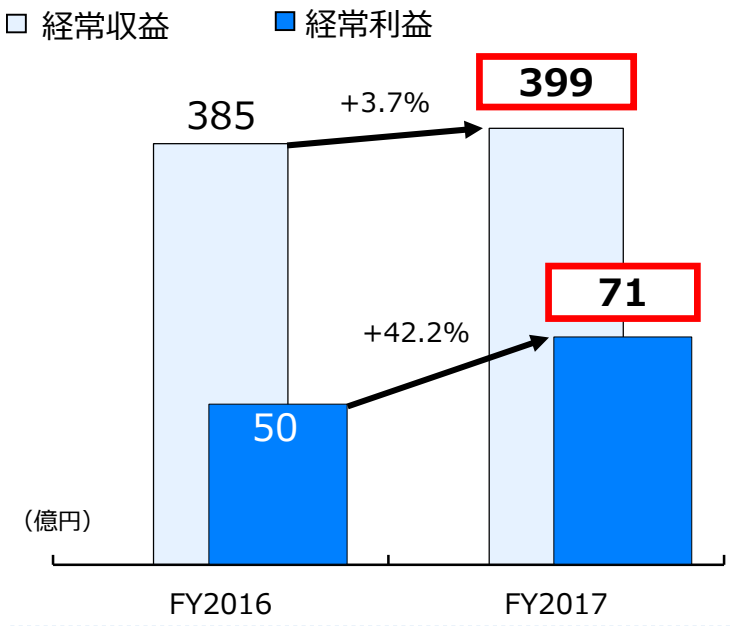


Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー銀行　業績ハイライト（連結・単体）

Sony Financial Holdings

<連結>



<連結>
◆経常収益は、住宅ローン残高の積み上がりにともなう貸出金利息の増加や、有価証券利息の増加により、増収。
◆経常利益は、カードローンに係る広告宣伝費を中心に営業経費が減少したことなどにより、増益。

<銀行単体>
◆ 業務粗利益・業務純益ともに増加。
・資金運用収支は増加。貸出金利息や有価証券利息の増加による。
・役務取引等収支は減少。住宅ローンの手数料収入の減少や、貸出金残高増加にともなう支払保証料の増加などによる。
・その他業務収支は減少。外国為替売買益の減少などによる。

<連結>

(億円)	FY2016	**FY2017**	前年度比	
経常収益	385	**399**	+14	+3.7%
経常利益	50	**71**	+21	+42.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	33	**47**	+14	+42.8%

<銀行単体>

(億円)	FY2016	**FY2017**	前年度比	
経常収益	351	**362**	+11	+3.3%
業務粗利益	211	**214**	+3	+1.4%
資金運用収支	179	**206**	+27	+15.2%
役務取引等収支	△15	**△29**	△13	–
その他業務収支	47	**37**	△10	△22.4%
営業経費	165	**155**	△10	△6.1%
業務純益	46	**59**	+13	+28.4%
経常利益	46	**65**	+19	+41.5%
当期純利益	31	**44**	+12	+40.9%

(億円)	17.3末	**18.3末**	前年度末比	
純資産	813	**857**	+43	+5.4%
その他有価証券評価差額金	47	**60**	+12	+26.4%
総資産	24,242	**26,350**	+2,107	+8.7%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー銀行　主要業績指標（単体）①

（億円）	17.3末	**18.3末**	前年度末比	
預かり資産残高	22,271	**23,430**	+1,159	+5.2%
預金	21,129	**22,193**	+1,063	+5.0%
円預金	17,649	**18,147**	+497	+2.8%
外貨預金	3,480	**4,046**	+565	+16.3%
投資信託	1,141	**1,237**	+96	+8.5%
貸出金残高	15,396	**15,963**	+567	+3.7%
住宅ローン	14,524	**15,255**	+730	+5.0%
カードローン	180	**188**	+8	+4.5%
その他	690	**518**[*1]	△171	△24.8%
口座数	124万件	**135万件**	+10万件	+8.8%
不良債権比率 [*2]（金融再生法開示債権ベース）	0.19%	**0.12%**		△0.06pt
自己資本比率 [*3]（国内基準）	9.75%	**10.45%**		+0.70pt

<主な増減要因>

◆ 円預金残高は、口座数増加にともなう新規資金の獲得などにより、普通預金残高が増加したため、増加。

◆ 外貨預金残高は、為替コストのキャンペーンや米ドル定期預金の金利訴求効果により、定期預金残高が増加したため、増加。

◆ 貸出金は、住宅ローンの借り換え需要は減少したものの、着実な積み上げにより、増加。

*1　うち518億円は法人向け
*2　不良債権（金融再生法開示債権）/総与信額
*3　P.28の自己資本比率（国内基準）の推移ご参照
　　17年3月末より基礎的内部格付手法で算出

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー銀行　主要業績指標（単体）②

Sony Financial Holdings

<参考> 社内管理ベース

（億円）	FY2016	FY2017	前年度比	
業務粗利益	210	**213**	+3	+1.5%
資金収支*1 ①	206	**230**	+23	+11.6%
手数料等収支*2 ②	△9	**△25**	△15	—
その他収支*3	14	**9**	△4	△34.9%
コアベース業務粗利益(A) ＝①＋②	196	**204**	+8	+4.2%
営業経費等 ③	165	**155**	△10	△6.1%
コアベース業務純益 ＝(A)－③	31	**49**	+18	+58.4%

■ **社内管理ベース**

損益の実態をより適切に表すよう、財務会計ベースに以下の調整を加えたもの

*1 資金収支 …… 資金運用収支＋その他業務収支に計上されている実質的な資金運用にかかる損益（為替スワップ収益等）

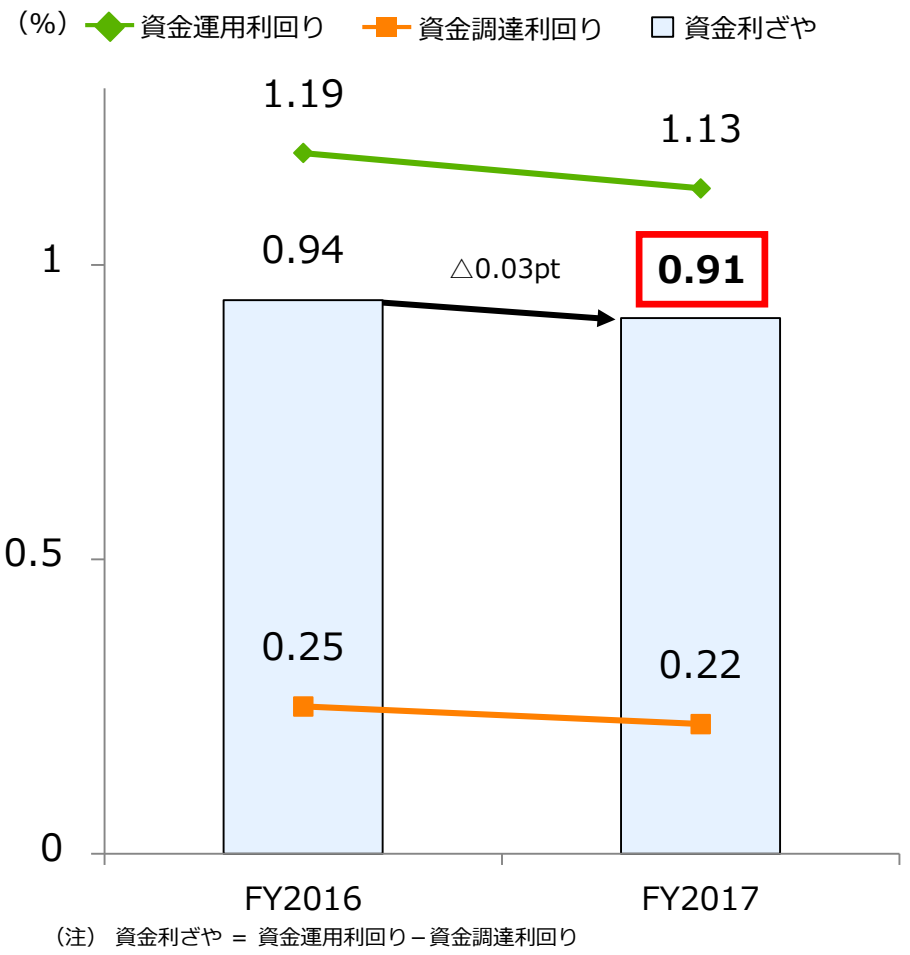
*2 手数料等収支 … 役務取引等収支＋その他業務収支に計上されているお客さまとの外貨売買取引にかかる収益

*3 その他収支 …… その他業務収支から *1 と *2 の調整分を控除したもの（主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益）

■ **コアベース**

社内管理ベースの その他収支 （主な内容は債券関係損益およびデリバティブ関連損益） を除いたもので、ソニー銀行の基礎的な利益を表すもの

<参考> 資金利ざや（社内管理ベース）の推移



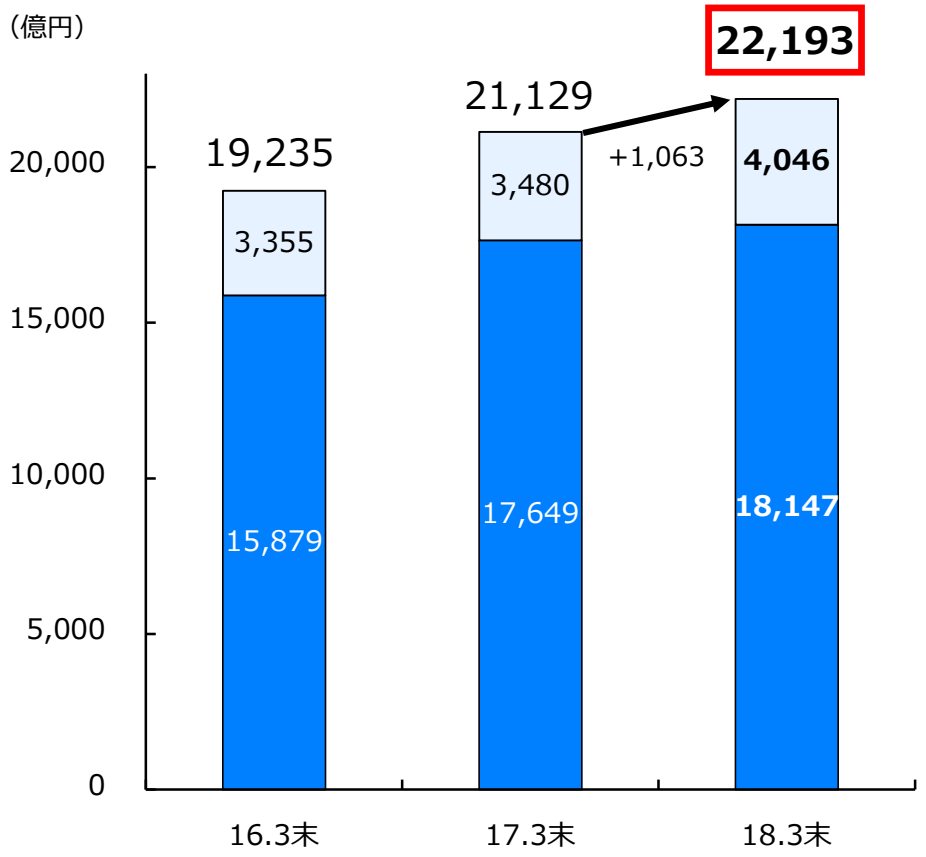
（注） 資金利ざや ＝ 資金運用利回り－資金調達利回り

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー銀行の業績 （単体） ①

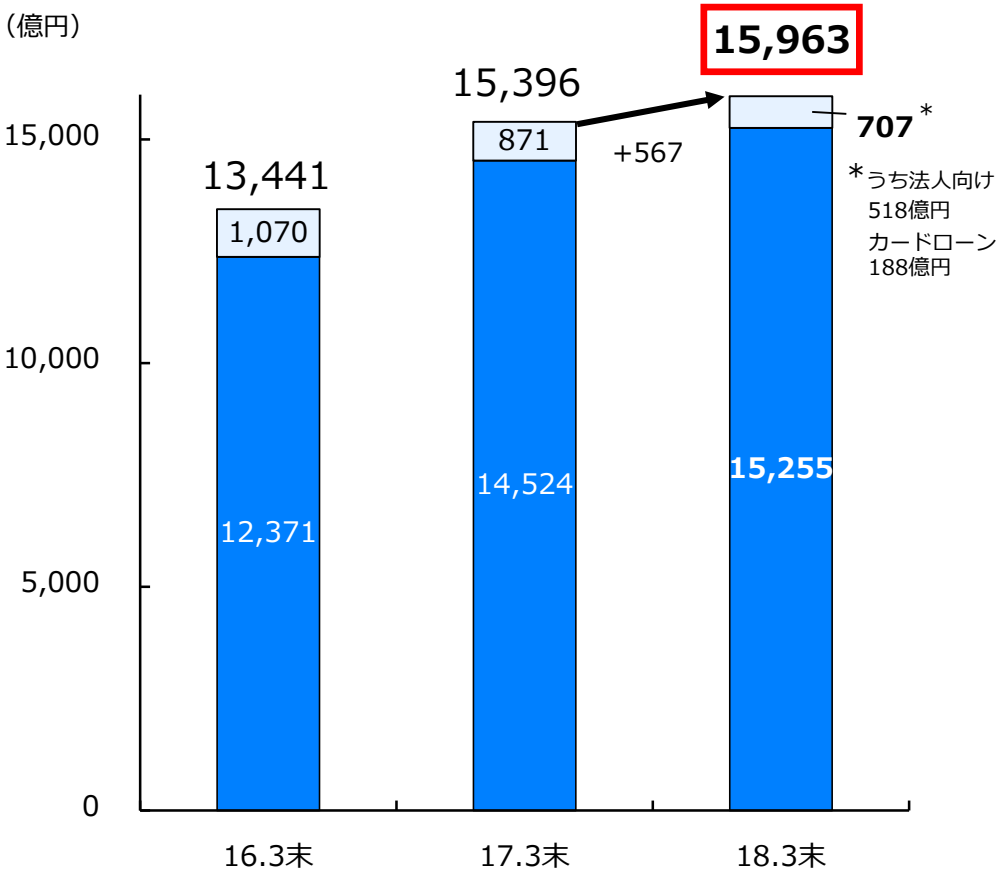
預金残高

■ 円預金 □ 外貨預金



貸出金残高

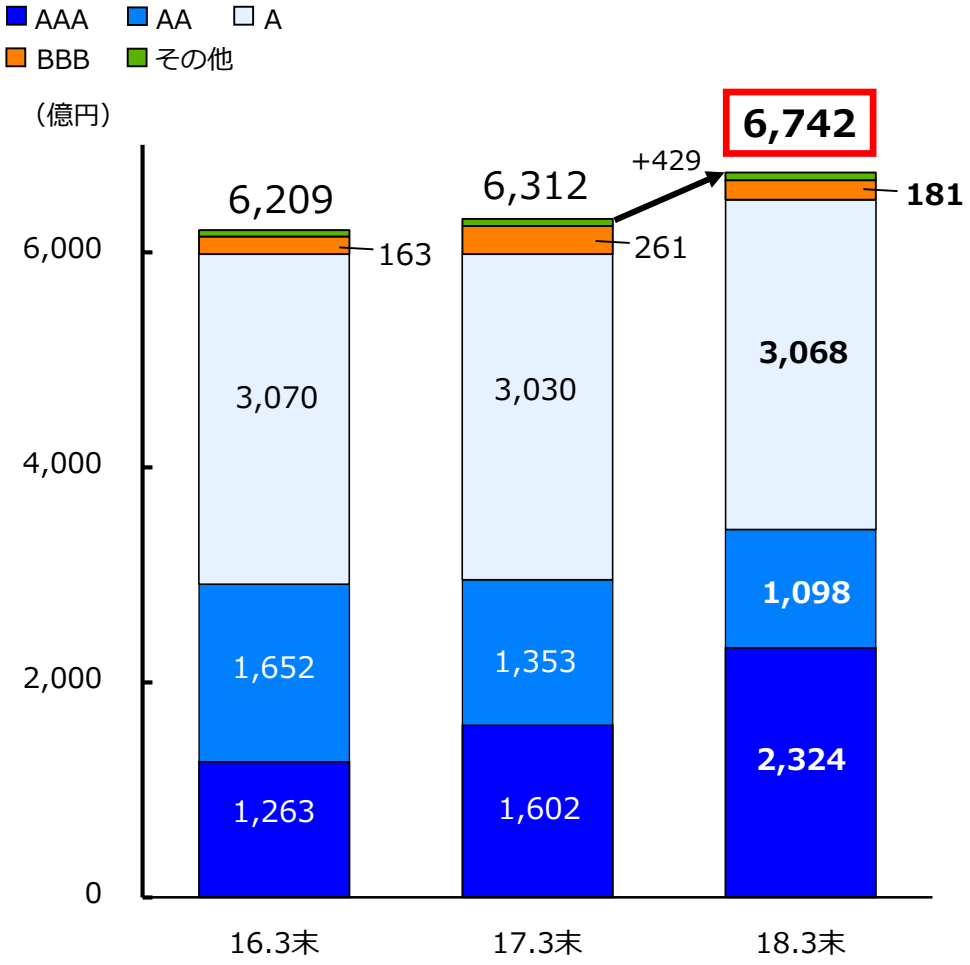
■ 住宅ローン □ その他



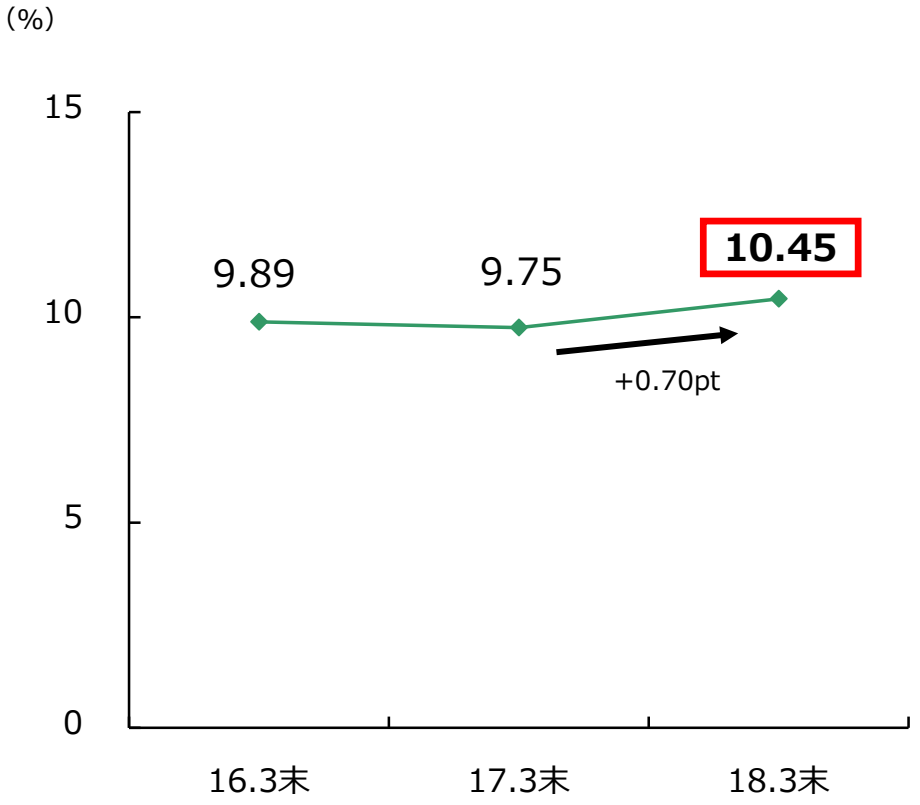
Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

ソニー銀行の業績 （単体） ②

格付別の有価証券残高の推移



自己資本比率（国内基準）の推移



（注1）平成18年（2006年）金融庁告示第19号「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」に基づき算出。

（注2）17年3月末より基礎的内部格付手法で算出。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

2018年度連結業績予想

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

2018年度連結業績予想

経常収益は増収、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は増益の見通し。

(億円)	FY2017（通期実績）	FY2018（通期予想）	前年度比
経常収益	15,036	**15,780**	**+4.9%**
うち生命保険事業	13,512	**14,161**	**+4.8%**
うち損害保険事業	1,100	**1,123**	**+2.0%**
うち銀行事業	399	**428**	**+7.2%**
経常利益	668	**830**	**+24.2%**
うち生命保険事業	541	**709**	**+30.9%**
うち損害保険事業	65	**65**	**△1.1%**
うち銀行事業	71	**70**	**△2.0%**
親会社株主に帰属する当期純利益	518	**550**	**+6.0%**

FY2018も引き続き、各事業において、業容拡大による持続的・安定的な成長を見込んでいます。

＜各事業の経常収益・経常利益＞

■生命保険事業

経常収益は、保険料等収入の堅調な推移などを見込んでいることから、FY2017に比べ増収となる見通し。
経常利益は、保有契約の増加にともなう利益の増加や有価証券売却益の増加、その他有価証券に係るヘッジを目的としたデリバティブ取引の損益の改善などを見込んでいることから、FY2017に比べ増益となる見通し。

■損害保険事業

経常収益は、自動車保険を中心に正味収入保険料の増加などを見込んでいることから、FY2017に比べ増収となる見通し。
経常利益は、増収を見込む一方で、損害率が想定よりも低位であったFY2017に対し、FY2018はやや上昇を見込んでいることから、横ばいの見通し。

■銀行事業

経常収益は、引き続き住宅ローンの着実な積上げや、外貨ビジネスの強化により業容は堅調に拡大すると見込んでいることから、FY2017に比べ増収となる見通し。
経常利益は、増収にともなう業務粗利益の増加を見込む一方で、事業費の増加を見込んでいることから、FY2017に比べ横ばいとなる見通し。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

2018年度 配当予想

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

2018年度 配当予想

■中期配当方針：変更なし

当社は、グループ各社における健全性と成長分野への投資のための適切な内部留保を確保した上で、安定的な配当の実施を基本方針とし、その上で、中長期の収益拡大に応じて配当の安定的な増加を目指す。中長期の収益拡大については、法定会計上の利益のみならず、生命保険事業の成長実態により近い、経済価値ベースの利益指標をより重視した上で、総合的に判断し、配当額を決定。

■配当実績／予想

2017年度の配当は、1株当たり60円とする予定。
2018年度の配当予想は、事業環境や業容成長および経済価値ベースの利益の伸展などを勘案した結果、2017年度から2.5円増配し、1株当たり62.5円とする。

	FY2014	FY2015	FY2016	**FY2017（予定）**	**FY2018（予想）**
1株当たり配当金	40.0円	55.0円	55.0円	**60.0円**	**62.5円**

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の2018年3月末MCEV【速報】およびESR

2018年3月末の計算の妥当性については第三者の検証を受けていないことに十分ご留意ください。
第三者の検証を受けた2018年3月末時点のMCEV Principlesに準拠したMCEVの公表は本年5月21日を予定しています。
なお、2017年12月末の計算については、一部簡易な計算を実施しており、第三者の検証は受けておりません。

※当パートにおいては、数値、比率ともに表示単位未満は四捨五入で表示。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命のMCEV

（億円）	17.3末	17.12末	**18.3末***	増減 対17.3末	増減 対17.12末
MCEV	14,411	15,096	**16,332**	+1,921	+1,236
修正純資産	16,577	17,171	**17,861**	+1,284	+690
保有契約価値	△2,167	△2,075	**△1,529**	+637	+546

（億円）	FY16.4Q (3M)	FY17.1Q (3M)	FY17.2Q (3M)	FY17.3Q (3M)	**FY17.4Q (3M)**	**FY17.4Q (12M)**
新契約価値	141	122	172	199	**212**	**704**
新契約マージン	3.8%	4.6%	6.4%	6.0%	**6.1%**	**5.8%**

◆ **MCEV増減要因**

・保険リスクの計測手法などの見直しおよび新契約獲得などにより、前四半期末に比べ1,236億円増加。

◆ **新契約価値および新契約マージン**

・FY17.4Q(3M)の新契約価値は、着実な新契約獲得により、212億円。

・新契約マージンは、円金利の低下があったものの商品構成の変化により、FY17.3Q(3M)に比べ0.1ポイント上昇。

（注） 2017年12月末のMCEVの計算は、2017年3月末の前提条件から、主に経済前提と解約・失効率をアップデート。

（注） 新契約価値は、各月の新契約を各月末の経済前提で評価。新契約価値および新契約マージンは、保険リスクの計測手法などの変更は行っておりません。

*2018年3月末の数値は、保険リスクの計測手法などの見直し後。詳細については、P.48･49を参照。

※日本国債レートの推移は、P.50参照。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命のESR

（億円）	17.3末	17.12末	**18.3末*3**
保険リスク *1	9,375	9,704	**4,975**
市場関連リスク	4,051	3,525	**3,806**
うち金利リスク *2	*3,089*	*2,572*	***2,753***
オペレーショナルリスク	281	295	**310**
カウンターパーティリスク	19	28	**26**
分散効果	△3,920	△3,831	**△1,820**
経済価値ベースのリスク量	9,806	9,722	**7,297**

（億円）	17.3末	17.12末	**18.3末*3**
MCEV＋フリクショナル・コスト	14,766	15,393	**16,558**
ESR	151%	158%	**227%**

（注） 経済価値ベースのリスク量とは、ソニー生命が保有する各種リスク（保険リスク、市場関連リスクなど）を、市場整合的な方法で総合的に評価したリスク総量。
（注） 経済価値ベースのリスク量の測定においては、１年VaR99.5%水準とし、内部モデルを採用。
（注） ESRは「（MCEV＋フリクショナル・コスト）/ 経済価値ベースのリスク量」。

◆ **経済価値ベースのリスク量は、保険リスクの計測手法などの見直しにより、前四半期末に比べ2,424億円減少し、7,297億円。**
◆ **ESRは、保険リスクの計測手法などの見直しにより、前四半期末に比べ69ポイント上昇し227%。**

*1　2017年3月末および2017年12月末は、Life区分、Health区分間での分散効果考慮前のリスク量。
*2　市場関連リスク内での分散効果考慮前のリスク量。
*3　2018年3月末の数値は、保険リスクの計測手法などの見直し後。詳細については、P.48･49を参照。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

参考情報

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

その他トピックス ①

Sony Financial Holdings

ソニーライフ・エイゴン生命の概要

ソニーライフ・エイゴン生命

営業開始： 2009年12月1日
資本金： 369億円（資本準備金184.5億円を含む）
株主： ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%
取扱商品： 変額個人年金保険
販売チャネル： ライフプランナー、および銀行等（計33社*） *2018年5月14日現在

SA Reinsurance の概要

設立日： 2009年10月29日
資本金： 159億円
株主： ソニー生命 50%、エイゴン・インターナショナルB.V. 50%
事業内容： 再保険業

（注）ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資（50:50）による合弁会社であり、持分法適用関連会社。

ソニー銀行における、ソニー生命による住宅ローンの取扱い状況

■ 2017年度の住宅ローン新規融資実行金額の16%
2018年3月末の住宅ローン残高の20%

※銀行代理業務取扱い開始： 2008年1月

ソニー生命 ⇔ ソニー銀行

ソニー損保における、ソニー生命による自動車保険取扱い状況

■ 2017年度の新規自動車保険契約件数の4%

※自動車保険取扱い開始： 2001年5月

ソニー生命 ⇔ ソニー損保

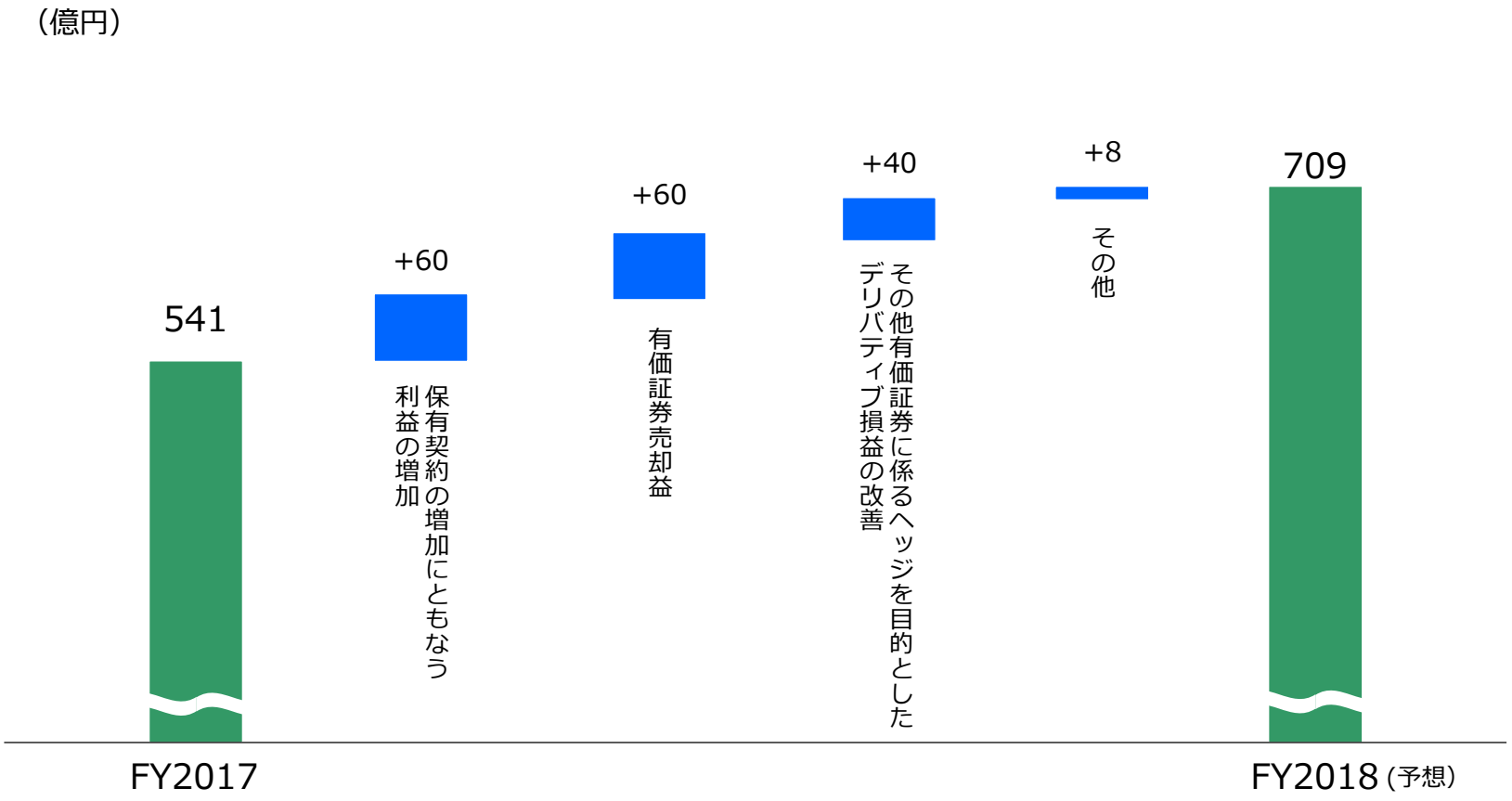
Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved

その他トピックス ②　2017年度以降の主な取組み

2017年4月2日	生保	【新商品】『生前給付逓減定期保険（生活保障型／無配当）』の発売
2017年4月3日	損保	自動車保険契約者向けに『セコム事故現場かけつけサービス』の提供を開始
2017年5月1日	介護	介護付有料老人ホーム「ソナーレ浦和」を埼玉県さいたま市浦和区に開設
2017年6月21日	銀行	代表取締役社長の交代
2017年6月28日	当社･生･損･銀	「お客さま本位の業務運営方針」の策定・開示
2017年7月10日	介護	ゆうあいホールディングスの完全子会社化（8月1日に「プラウドライフ株式会社」へ商号変更）
2017年8月8日	銀行	投資型クラウドファンディング『Sony Bank GATE』開始
2017年8月10日	生保	シンガポールにおけるスターツ証券との合弁会社「Sony Life Financial Advisers Pte. Ltd.」を設立
2017年9月1日	銀行	東京都中央区銀座に「CONSULTING PLAZA（コンサルティングプラザ）」オープン
2017年10月2日	生保	【新商品】『米ドル建一時払終身保険（無告知型）』・『米ドル建生前給付終身保険（生活保障型）』の発売
2017年10月9日	銀行	株式会社髙島屋および髙島屋クレジット株式会社との提携により、『タカシマヤプラチナデビッドカード』を発行、会員募集開始
2017年11月29日	当社	第3回 無担保社債100億円を発行
2017年12月1日	損保	テュフ ラインランド ジャパンの認証を取得した修理工場との提携を推進
2017年12月14日	銀行	ウェルスナビ株式会社と提携し、同社の自動資産運用サービス『WealthNavi for ソニー銀行』の提供を開始
2017年12月18日	銀行	本社オフィスを東京都千代田区内幸町に移転
2018年1月9日	生保	2018年4月の「標準生命表」の改定を踏まえ、個人保険のうち定期性保険商品の一部について、保険料率の改定実施を発表
2018年4月1日	損保	自動車保険に「ASV割引（自動ブレーキ割引）」「被害者救済費用補償特約」を新設 （2018年4月1日以降保険始期日の契約を対象）
2018年5月2日	生保	【新商品】『メディカル・ベネフィット』『メディカル・ベネフィット リターン』の発売を発表

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

生命保険事業の経常利益の変動要因



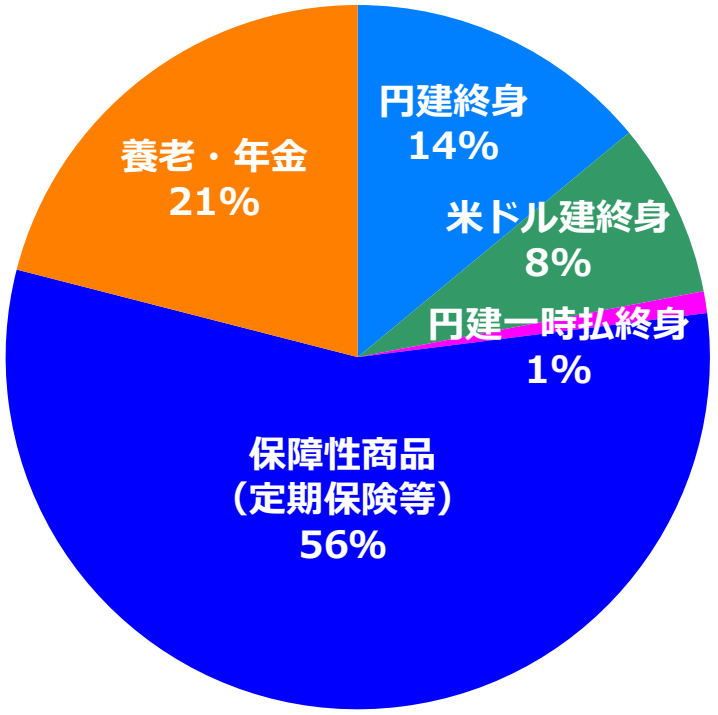
Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の商品構成

商品種類別新契約年換算保険料

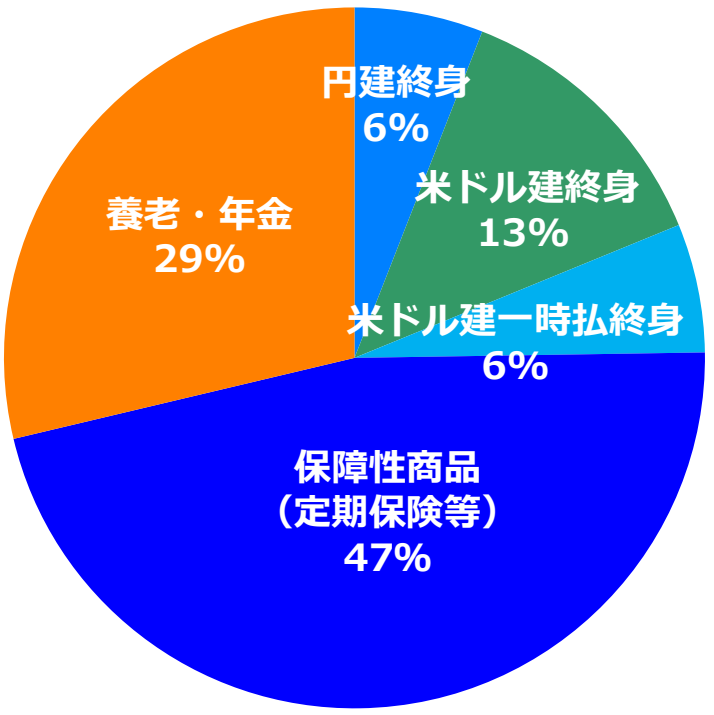
FY16（通期）

781億円



FY17（通期）

730億円

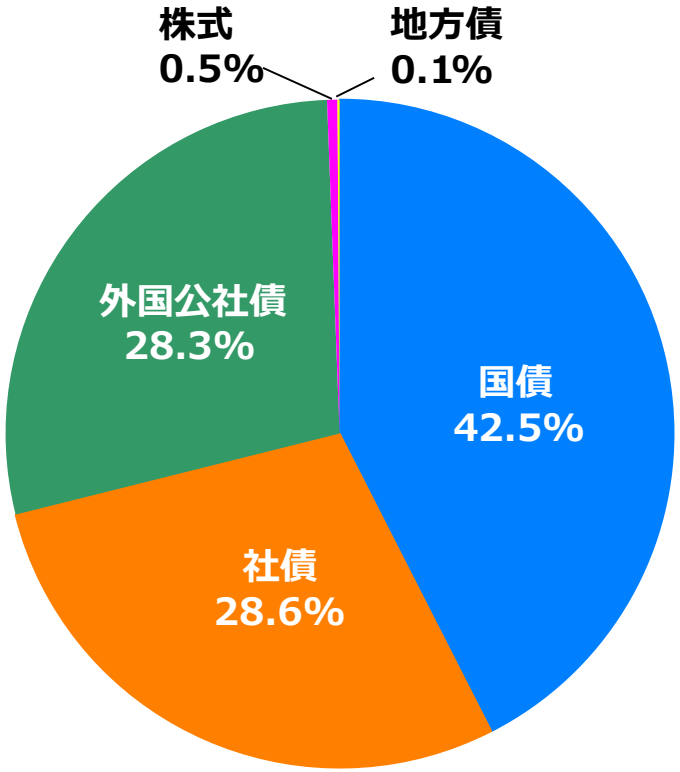


Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

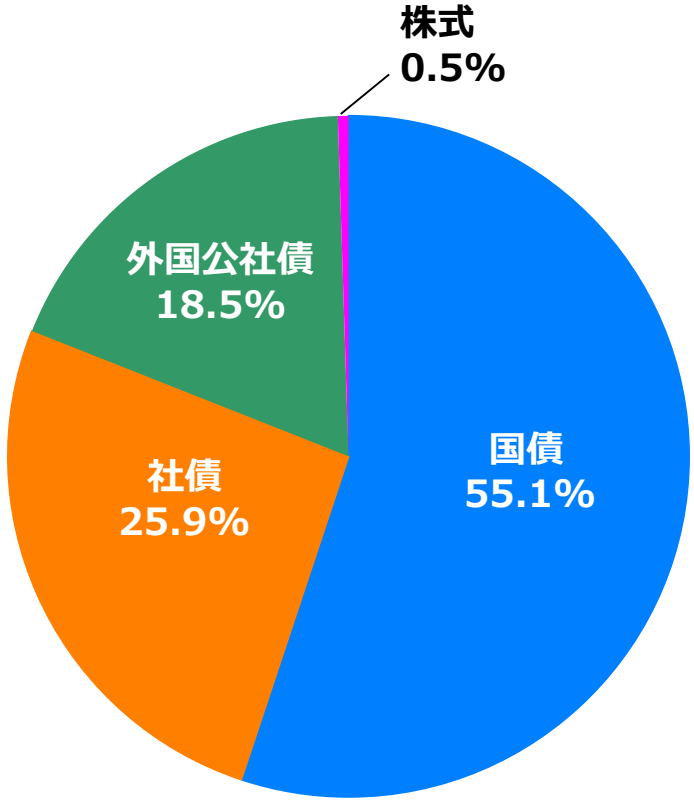
ソニー生命の資産運用

一般勘定資産における有価証券の購入

FY16（通期）



FY17（通期）



（注1）社債には、財投機関債、政府保証債を含む。
（注2）上記の表は対象期間の購入金額を100%とした資産配分（子関連出資・政策投資を除く）。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の保有する有価証券 （一般勘定）

有価証券の時価情報

売買目的有価証券以外の有価証券のうち、時価のあるもの

(億円)

区　分	16.3末			17.3末			**18.3末**		
	帳簿価額	時価	差損益	帳簿価額	時価	差損益	**帳簿価額**	**時価**	**差損益**
満期保有目的の債券	53,839	74,101	20,262	60,686	75,142	14,455	**64,679**	**80,506**	**15,826**
責任準備金対応債券	2,512	2,925	413	2,773	3,033	259	**4,019**	**4,368**	**348**
その他有価証券	8,879	10,916	2,036	8,965	10,699	1,733	**9,219**	**10,911**	**1,691**
公社債	8,543	10,403	1,860	8,526	10,133	1,607	**8,470**	**10,021**	**1,550**
株式	136	256	120	136	270	133	**136**	**306**	**169**
外国証券	198	252	54	300	291	△8	**610**	**581**	**△29**
その他の証券	1	3	1	1	3	1	**1**	**2**	**1**
合計	65,231	87,943	22,711	72,425	88,875	16,449	**77,919**	**95,786**	**17,867**

（注）本表には、金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のものを含む。

売買目的有価証券の評価損益

（億円）

16.3末		17.3末		**18.3末**	
BS計上額	PL評価損益	BS計上額	PL評価損益	**BS計上額**	**PL評価損益**
22	1	20	△1	**－**	**△0**

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の利配収入内訳

（百万円）	FY2016	**FY2017**	前年度比
現預金	0	**0**	+681.5%
公社債	121,103	**125,271**	+3.4%
株式	527	**566**	+7.4%
外国証券	8,886	**13,975**	+57.3%
その他の証券	255	**621**	+143.6%
貸付	6,377	**6,610**	+3.7%
不動産	10,869	**10,285**	△5.4%
その他	265	**395**	+49.0%
合計	148,284	**157,727**	+6.4%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命のキャピタル損益内訳

（百万円）	FY16.4Q (12M)	**FY17.4Q (12M)**
キャピタル費用	32,276	**27,357**
売買目的有価証券運用損	–	**8**
有価証券売却損… (3)	–	**0**
金融派生商品費用	30,050	**11,403**
うち変額保険に係るヘッジ損… (1)	15,666	**8,424**
うちその他有価証券に係るヘッジ損… (2)	2,460	**4,350**
うち米ドル建保険関係の為替差損…(4)	12,010	**△2,004**
為替差損	–	**15,280**
うち米ドル建保険関係の為替差損…(4)	–	**15,465**
その他キャピタル費用	2,226	**664**
うち米ドル建保険関係の 為替変動に係る責任準備金等繰入額… (4)	1,560	**–**

（百万円）	FY16.4Q (12M)	**FY17.4Q (12M)**
キャピタル収益	16,114	**9,894**
売買目的有価証券運用益	134	**–**
有価証券売却益…(3)	1,308	**0**
金融派生商品収益	–	**–**
為替差益	14,670	**–**
うち米ドル建保険関係の為替差益…(4)	12,389	**–**
うち外債売却に係る為替差益	2,375	**–**
その他キャピタル収益	–	**9,894**
うち米ドル建保険関係の 為替変動に係る責任準備金等戻入額…(4)	–	**9,894**

キャピタル損益	△16,162	**△17,463**

（注）売買目的有価証券運用益（損）、金融派生商品収益（費用）、為替差益（差損）は、それぞれ相殺後の金額を計上。

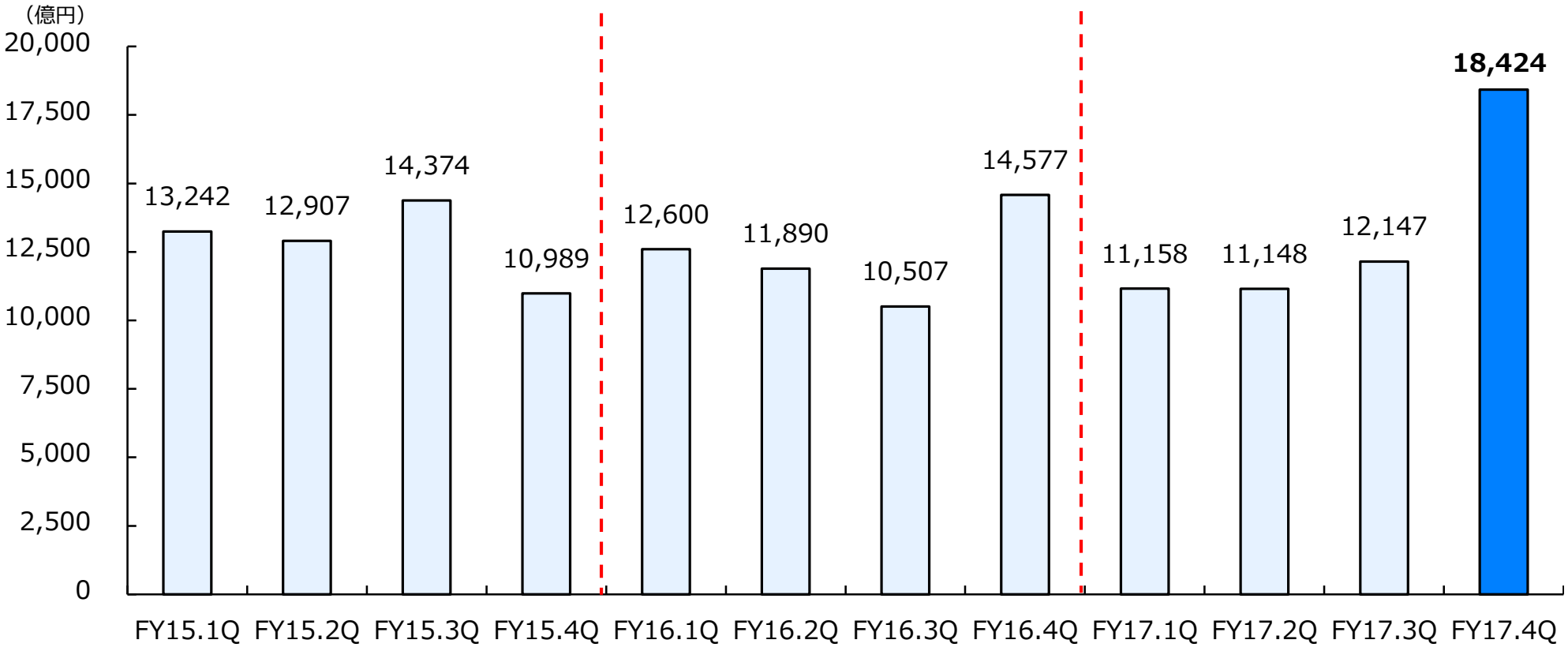
（百万円）	FY16.4Q (12M)	**FY17.4Q (12M)**
(1)変額保険に係るヘッジ損益	△15,666	**△8,424**
(2)その他有価証券に係るヘッジ損益	△2,460	**△4,350**
(3)有価証券売却損益	1,308	**0**
(4)米ドル建保険関係損益	△1,181	**△3,566**

（百万円）	FY16.4Q (12M)	**FY17.4Q (12M)**
有価証券売却損益と 外債売却に係る為替差損益の合計	3,683	**0**

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の新契約高の四半期推移

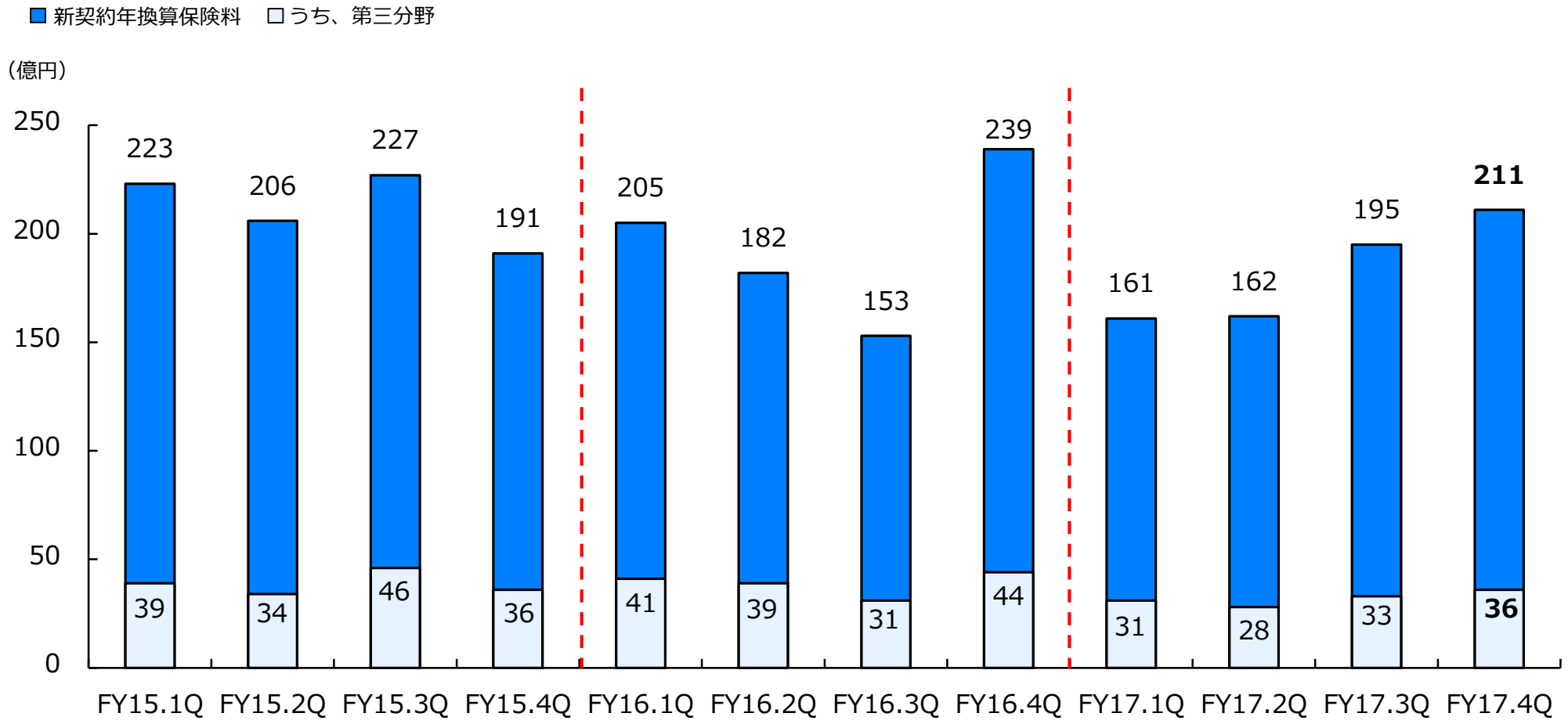
新契約高の四半期（3カ月）ごとの推移



Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の新契約年換算保険料の四半期推移

新契約年換算保険料の四半期（3カ月）ごとの推移

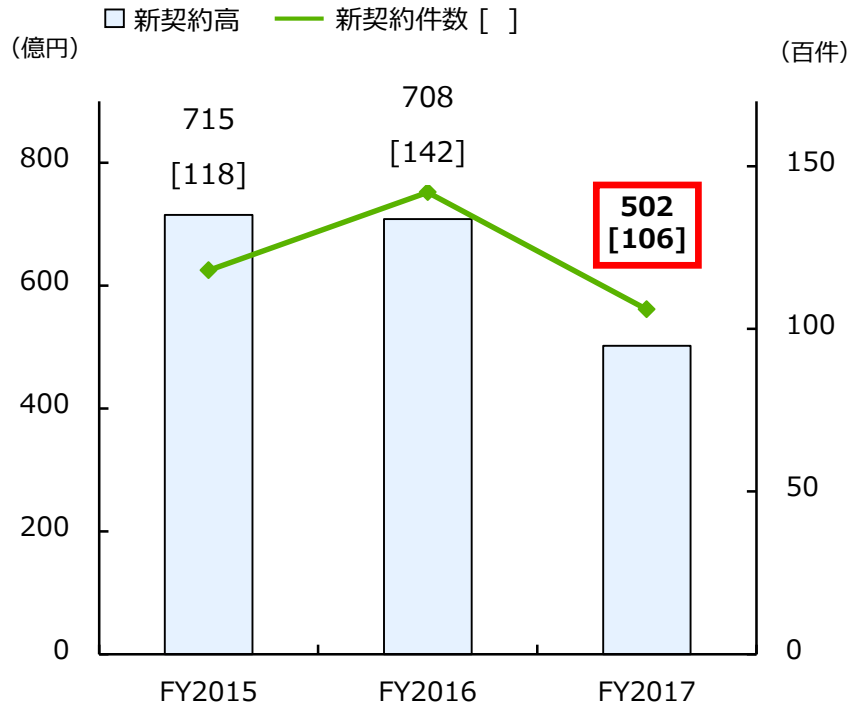


Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

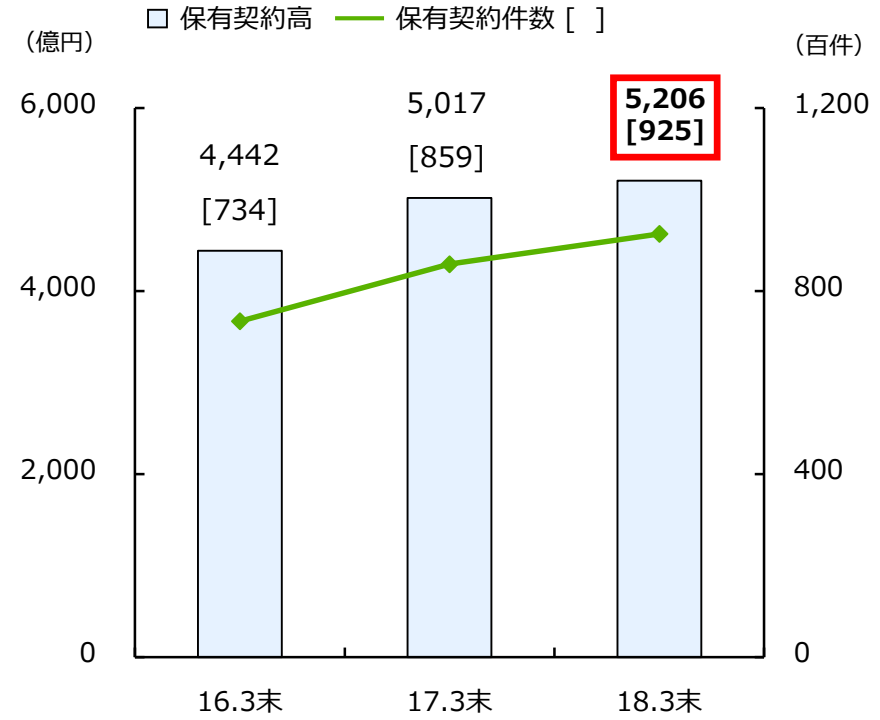
年金事業の業績

（ソニーライフ・エイゴン生命の新契約高及び保有契約高）

新契約高・件数



保有契約高・件数



ソニーライフ・エイゴン生命およびSA Reinsurance の当期純利益 （△損失）

（億円）	FY2016	**FY2017**	前年度差
ソニーライフ・エイゴン生命	△44	**△43**	+1
SA Reinsurance	△26	**△5**	+20

（注）ソニーライフ・エイゴン生命とSA Reinsuranceは、ソニー生命とエイゴン・インターナショナルの折半出資（50:50）による合弁会社であり、SFHの持分法適用関連会社。
SA Reinsuranceの業績数値は、米国会計原則に準拠。SFHの親会社株主に帰属する当期純利益には上記の金額に対する持分相当（50%）を反映。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の保険リスクの計測手法などの見直し

◆保険リスクの計測手法について

- ソニー生命では、MCEVの開示を始めてからこれまで、透明性、比較可能性の観点から、経済価値ベースの資本規制として先行していたEUソルベンシーⅡの標準モデルに準じた計測手法を採用してきました。
- その間、業界内でリスク計測手法や内部モデルに関する議論の進展が見られ、またソニー生命においても、保険リスクに係る自社経験データおよびそれらを用いた内部モデルに関する知見が蓄積されたことから、内部モデル高度化に向けて態勢が整ってきました。
- このため、2018年3月末において、ソニー生命の保険リスクの計測手法を、自社のリスク特性を反映した内部モデルに見直しました。

◆資本コスト率について

- 市場データを考慮してMCEVの枠組みに整合的な資本コスト率を設定しておりますが、直近の市場データの状況および傾向を踏まえ、2018年3月末のMCEVの計測に使用する資本コスト率の見直し（2.5%から3.0%に引き上げ）を行いました。

当変更にともなう2018年3月末のMCEV、ESRなどへの影響は次頁のとおりです。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

ソニー生命の保険リスクの計測手法などの見直しの影響額

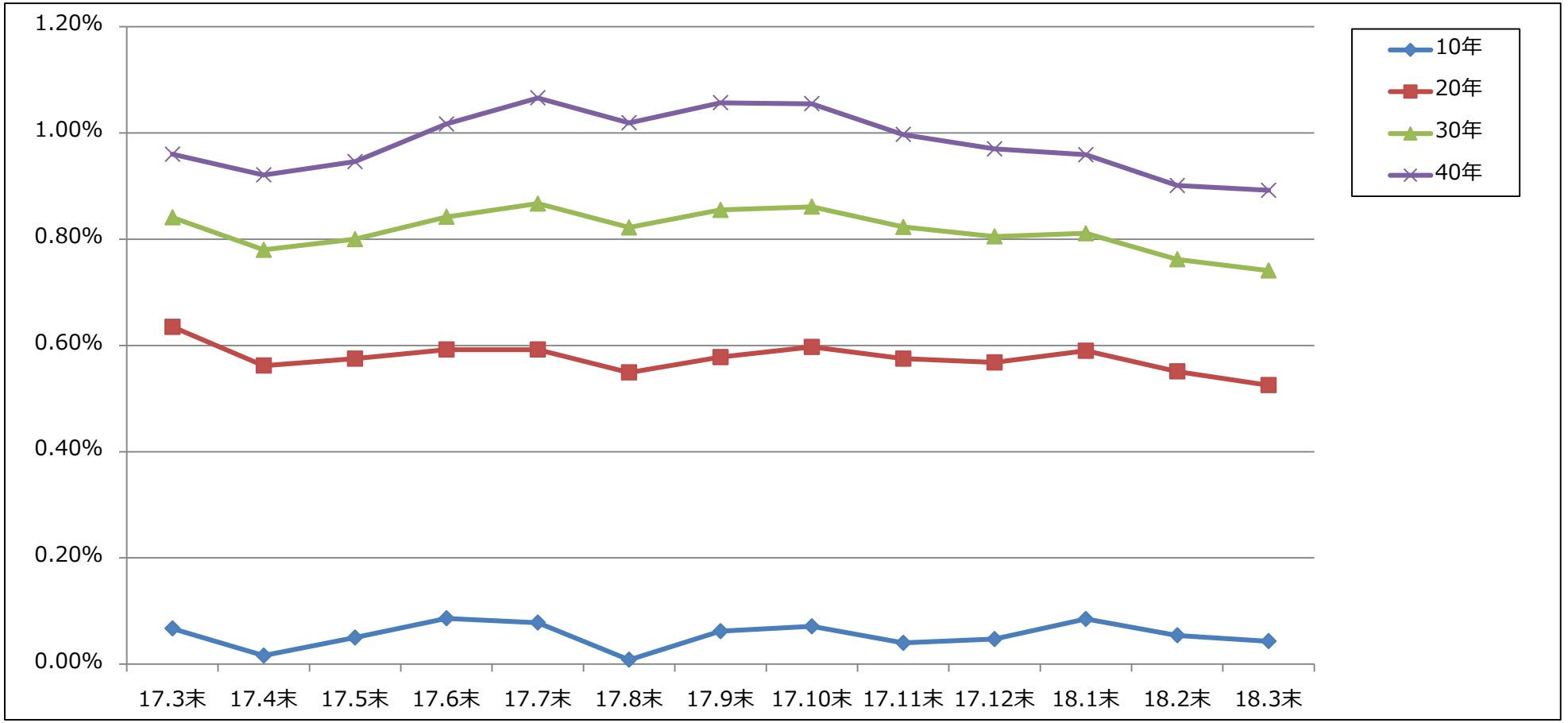
2018年3月末　（億円）	変更前	変更後	影響額
MCEV	15,365	16,332	+966
保険リスク	9,879	4,975	△4,904
市場関連リスク	3,806	3,806	―
オペレーショナルリスク	310	310	―
カウンターパーティリスク	26	26	―
分散効果	△3,971	△1,820	+2,151
経済価値ベースのリスク量	10,050	7,297	△2,753
MCEV＋フリクショナル・コスト	15,693	16,558	+865
ESR	156%	227%	+71pt

◆MCEVへの影響額＋966億円のうち、資本コスト率変更のMCEVへの影響額は△530億円。

◆新契約価値は、2018年度より保険リスク計測手法などの見直しを反映します。
2017年度の新契約に対して保険リスク計測手法などの見直しを反映した場合の新契約マージンへの影響は+0.7ポイント。

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

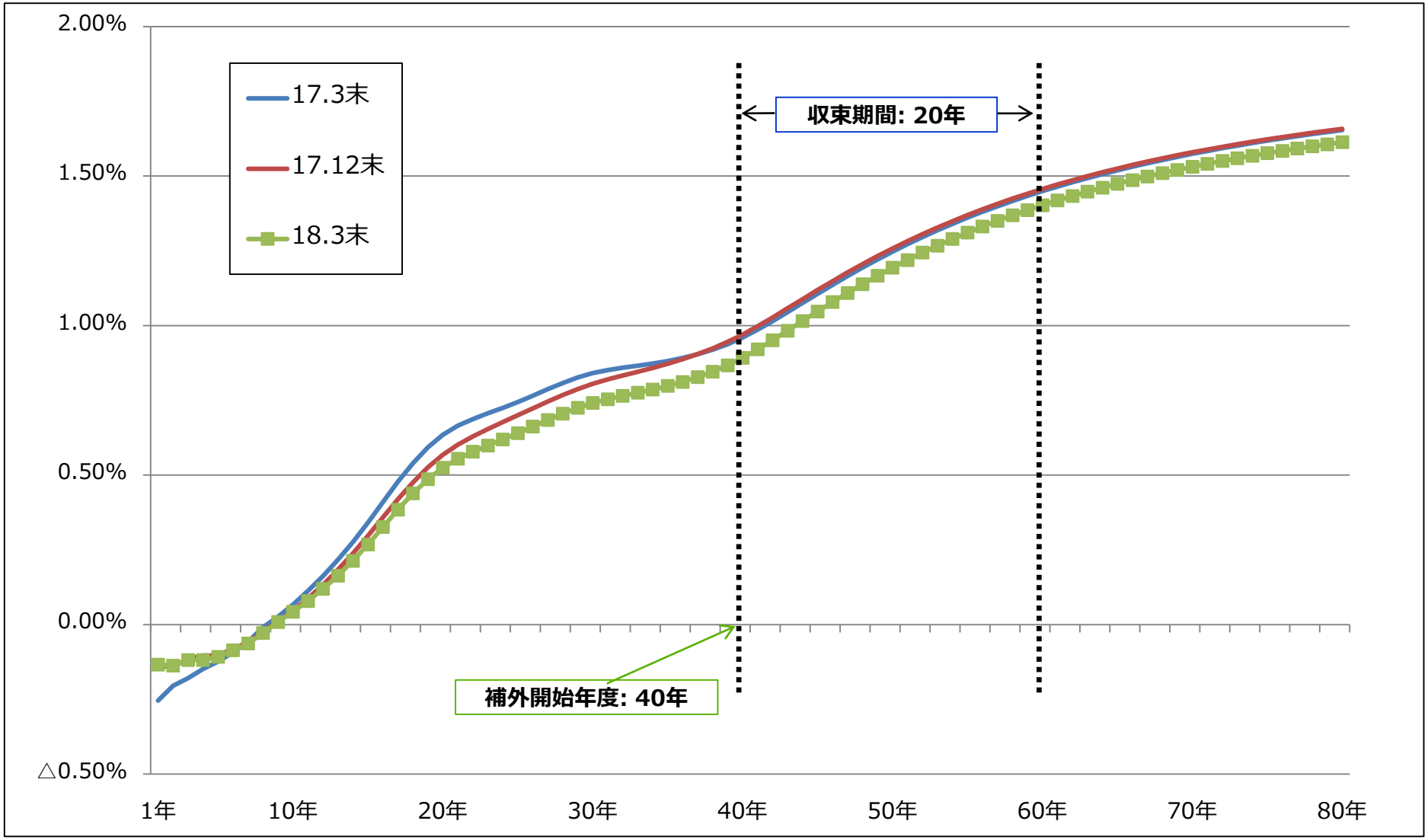
日本国債レートの推移（パーレート）



	17.3末	17.4末	17.5末	17.6末	17.7末	17.8末	17.9末	17.10末	17.11末	17.12末	18.1末	18.2末	18.3末
10年	0.07%	0.02%	0.05%	0.09%	0.08%	0.01%	0.06%	0.07%	0.04%	0.05%	0.09%	0.05%	0.04%
20年	0.64%	0.56%	0.58%	0.59%	0.59%	0.55%	0.58%	0.60%	0.58%	0.57%	0.59%	0.55%	0.53%
30年	0.84%	0.78%	0.80%	0.84%	0.87%	0.82%	0.86%	0.86%	0.82%	0.81%	0.81%	0.76%	0.74%
40年	0.96%	0.92%	0.95%	1.02%	1.07%	1.02%	1.06%	1.06%	1.00%	0.97%	0.96%	0.90%	0.89%

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

リスクフリーレートの推移（日本円/パーレート換算）



Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

連結修正ROEの算式

●連結修正ROEの算式

保険事業や銀行事業などグループ各社の業態が異なるため、各事業ごとに、修正利益および修正資本に基づく「修正ROE」を算出し、企業価値や資本効率の的確な把握に努める。グループ各社の修正ROEの算式は以下のとおり。

	ソニーフィナンシャルグループ＊		
	ソニー生命 コアROEV	ソニー損保 修正ROE	ソニー銀行 ROE
分子 （修正利益）	新契約価値 ＋保有契約価値からの貢献 ①	＋ 当期純利益 ＋異常危険準備金繰入額(税後) ＋価格変動準備金繰入額(税後) ②	＋ 親会社株主に帰属する 当期純利益 ③
分母 （修正資本）	（前年度末MCEV －配当額 ＋当年度末MCEV）÷2 ④	＋ 以下の期中平均値 （純資産の部 ＋異常危険準備金（税後） ＋価格変動準備金（税後）） ⑤	＋ 純資産の部の期中平均値 ⑥

＊　グループの連結修正ROE ＝ 連結修正利益 ÷ 連結修正資本
　　連結修正利益　＝　①＋②＋③
　　連結修正資本　＝　④＋⑤＋⑥

Sony Financial Holdings Inc.　All Rights Reserved

お問い合わせ先：
ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社　IR部
TEL：03-5290-6500（代表）

Sony Financial Holdings Inc. All Rights Reserved